

# 1 議 事 日 程

[令和7年太宰府市議会 予算特別委員会]

令和7年3月17日

午前 10 時 00 分

於 全員協議会室

日程第1 議案第13号 令和6年度太宰府市一般会計補正予算(第8号)について

日程第2 議案第16号 令和7年度太宰府市一般会計予算について

## 2 出席委員は次のとおりである(16名)

委員長	陶山良尚	議員	副委員長	神武綾	議員
委員	馬場礼子	議員	委員	今泉義文	議員
〃	森田正嗣	議員	〃	入江寿	議員
〃	木村彰人	議員	〃	徳永洋介	議員
〃	船越隆之	議員	〃	堺剛	議員
〃	笠利毅	議員	〃	原田久美子	議員
〃	小島真由美	議員	〃	長谷川公成	議員
〃	橋本健	議員	〃	門田直樹	議員

## 3 欠席委員は次のとおりである

なし

## 4 太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名(44名)

総務部長 (歳入一体改革担当)	轟 貴之	総務部理事 (総務広報担当)	宮崎 征二
総務部理事 (危機管理・新しい公共担当)	杉山 知大	市民生活部長	佐藤 政吾
健康福祉部長 (子どもまんなか担当)	川谷 豊	健康福祉部理事 (高齢者福祉担当)	大谷 賢治
観光経済部長 (市民と交流人口・観光人口相互発展担当)	友添 浩一	都市整備部長	柴田 義則
都市整備部理事 (公営企業担当)	高原 寿子	教育部長	中山 和彦
総務課長 併選挙管理委員会事務局長	鳥飼 太	経営企画課長	宮原 竜
総務部総務担当課長兼経営企画課広聴 広報担当課長兼シティプロモーション担当課長	平嶋 香代子	文書情報課長	立石 泰隆
管財課長	堀 修一朗	管財課公共施設整備担当課長併 社会教育課教育施設整備担当課長	福田 久博
防災安全課長	糸山 邦明	地域コミュニティ課長	高田 政樹
市民課長	今村 江利子	税務課長	田代 浩
納税課長	松田 勝実	環境課長	大石 敬介
人権政策課長 兼人権センター所長	河野 貴之	国保年金課長	山口 辰男
福祉課長	山崎 崇	生活支援課長	木村 浩一
介護保険課長	柳谷 雅子	高齢者支援課長	大山 清敬
保育児童課長	伊藤 健一	元気づくり課長	高野 浩二
子育て支援課長	竹崎 雄一郎	こじょう保育所長	江坂 美輪

都市計画課長	古 賀 千 年 志	建 設 課 長	齋 藤 実 貴 男
観光推進課長兼 地域活性化複合施設太守館長	西 山 英 毅	国際・交流課長	松 井 百 合 子
産業振興課長	満 崎 哲 也	社会教育課長	井 本 正 彦
学校教育課長	鍋 島 順 一	文化財課長	井 上 信 正
文化学習課長	堀ノ内 龍 治	スポーツ課長	橋 川 史 典
会 計 課 長	添 田 朱 実	監査委員事務局長	添 田 邦 彦

5 職務のため委員会に出席した事務局職員の職氏名（5名）

議会事務局長	野 寄 正 博	議 事 課 長	花 田 敏 浩
書 記	陣 内 成 美	書 記	三 舛 貴 市
書 記	木 村 幸 代 志		

再開 午前10時00分

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（陶山良尚委員） 皆さんおはようございます。

ただいまから、休会中の予算特別委員会を再開します。

審査に当たっては、各委員からの質問は絞って端的に行っていただくとともに、執行部の回答や説明については、簡潔明瞭に回答ください。委員、執行部とも、委員会の円滑かつ効率的な運営にご協力をお願いいたします。

なお、審査に当たりましては、当初予算説明資料、予算審査資料などの参照の上、審査をお願いいたします。

それでは審査に入ります。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第2 議案第16号 令和7年度太宰府市一般会計予算について

○委員長（陶山良尚委員） 日程第2、議案第16号「令和7年度太宰府市一般会計予算について」を議題とします。

これから当初予算の審査に入りますが、予算審査の主要要求項目に対する質疑は、基本的に行わない。この点を確認しておきたいと思います。委員の皆さん、よろしいでしょうか。

お諮りします。

（「もう一回」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） もう一回。

それでは、再度言います。

これから当初予算の審査に入りますが、予算審査の資料要求項目に対する質疑は、基本的に  
行わない。この点を確認しておきたいと思います。よろしいでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） お諮りします。

審査に当たっては、事項別明細書の歳出から行いたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 異議なしと認め、お諮りしたとおり、事項別明細書の歳出から審査を行います。

直ちに審査に入ります。

事項別明細書、62ページの歳出1款議会費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 次に進みます。

64ページ、2款総務費、1項1目一般管理費について質疑はありませんか。

堺委員。

○委員（塚 剛委員） 防犯カメラの設置の分で、65ページの002項目の14節工事請負費、防犯カメラ設置工事、前年度、これ24か所の44台とお伺いしてましたが、今年度の計画実施状況をお知らせください。

○委員長（陶山良尚委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（糸山邦明） おはようございます。お答えいたします。

令和7年3月9日現在で、24か所46台設置を完了しております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 塚委員。

○委員（塚 剛委員） 今年度の予定は。

○委員長（陶山良尚委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（糸山邦明） すみません、もう一度ご回答させていただきます。

令和7年3月9日現在で、これまでの累計で24か所46台完了をいたしております。7年度のカメラの新設の設置は4か所を予定しております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですか。

ほかにはありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 関連して。4か所の設置ということで、ちょっと少なくなっている気もするんですけども、ちなみに自治会からの設置要望状況と市の設置方針をお伺いします。

○委員長（陶山良尚委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（糸山邦明） 基本的には、通学路を基本に設置を進めております。

その通学路の設置要望については、学校等の要望ですとか、地元の自治会長、また、我々が日頃行っているパトロールでつけたほうがいいんじゃないかというような箇所につけております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 今までに46か所プラスの新年度4か所ですので、50か所なんですけど、かなり台数増えてきました。ちょっと確認ですけども、収集したデータは、どのように扱われているのかというところを、内規とかルールがあると思うんですけども、そこら辺ちょっとご説明ください。

○委員長（陶山良尚委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（糸山邦明） 規則のほうがございまして、基本的には、国とか県とか審査機関、調査機関、主に警察ですけども、警察から要求があった場合に、出す出さない判断をして、データのほうの提供しているというような状況でございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 今はっきりしてるのが、五条区は、五条区、五条西区で、通学路の変更があるんですね、川沿いになります。その箇所については、もう既にこの4か所に入っているという見解でいいですか。そろそろ準備に入りますので。

○委員長（陶山良尚委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（糸山邦明） 今ご指摘していただいた御笠川沿いの五条の部分は、今年度の工事で、2か所をカメラを新設する予定でございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 65ページ、予算説明書14ページ、上から1段目の住宅等防犯対策事業1,000万円についてお伺いします。

代表質問でも、ちょっと説明あったと思うんですけど、改めてちょっとお聞きしたいんですけども、まず、補助の内容、具体的にどんなものに補助金いただいたら適用できるのかについて、ご説明ください。

○委員長（陶山良尚委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（糸山邦明） こちらのほうは、防犯フィルムですとか、人感センサーライト、偽電話詐欺防止機能付き電話ですとか、面格子、防犯砂利など、防犯対策品と言われている分について補助をする予定でございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 闇バイト対策ということで、補助のルールなんですけれども、これ、補助対象者ですよ、例えば、高齢者世帯に限るとか、そこら辺の対象者に限定があるのかということと、1人当たりの上限というか、それがいいのかをご説明いただければと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（糸山邦明） こちらのほう、対象といたしましては、住宅に対する補助というふうに考えておりますので、特に高齢者住宅というところの限定ではございません。あくまでも1住宅に対する補助というふうに考えております。住宅でございますので、その世帯に対する補助というふうに考えております。

あと上限につきましては、1件3万円、半額補助というふうに想定しております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 今泉委員。

○委員（今泉義文委員） 関連してですけれども、それって遡りってあるんでしたっけ。設置した時期、例えば、今までつけた遡り期間とかとあるんだったら教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（糸山邦明） あくまでも令和7年度の予算ということになりますので、原則4月1日以降というふうには考えております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですか。

ほかにはありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 65ページ、最後です。説明資料の14ページ、上段から3段目、防犯体制の強化で584万9,000円、金額大きいので、ご質問します。

防犯講座を行おうとする件、これ、講座の開催予定をお伺いします。まず。

○委員長（陶山良尚委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（糸山邦明） 防犯講座は、基本、出前講座を主体に考えておりますので、あくまでも地元といいますか、そういう団体からの要請に基づいて、出前講座をさせていただいております。予定は、特に今のところございません。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） ということは、代表質問で橋本委員も質問していました。これ、自治会のほうで、防犯講座をするときは出前講座申し込んだら、来ていただけるというふうに解釈してよろしいですか。

○委員長（陶山良尚委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（糸山邦明） そのとおりでございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですね。

ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、66、67ページですね。2目文書費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、3目法制費について質疑はありませんか。

次のページまでですね。よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、68、69ページ、4目広報費について質疑はありませんか。

橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 69ページ、市政だより費、印刷製本費で1,977万円ですかね。前年度と比べると約330万円アップしてるわけですよ。これどういう理由はあるんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課広聴広報担当課長。

○経営企画課広聴広報担当課長（平嶋香代子） 実際にですね、紙もそうなんですけれども、物価高騰によるそういった予算が、今回どうしても、それに300万円ほど上がっているようになっております。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） それちょっとあんまり納得できないんですが、ページ数を増やすとか、そういうことも含んでいるんでしょうか。330万円ですよ。アップ率。すごい多いなと思って。

○委員長（陶山良尚委員） 広聴広報担当課長。

○経営企画課広聴広報担当課長（平嶋香代子） ページ数がどうということではないんですけども、一般に広報の充実というか、図るためにも、もちろん内容もちゃんと精査していかないとイケませんので、そのためには、どうしても、印刷製本費というのは、必要最小限なものですので、今、申しあげましたとおり、実際に、紙をはじめ、人件費もそうなんですけれども、物価高騰によつてのこういった見積りも含めてのアップとなっております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

ほかにはありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 会計事務費までよかったですか。まだいってなかったですか。

○委員長（陶山良尚委員） まだいってないです。4目ですね。

○委員（小島真由美委員） ごめんなさい。

○委員長（陶山良尚委員） いいですね。

ほかにはよろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、5目財政管理費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それじゃ、6目会計管理費について質疑はありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） この会計事務費なんですけれども、役務費の交付金取扱手数料が800万円高くなっているんですが、この金額がちょっと大きいなと思って、気になっているんですが、何かあるんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 会計課長。

○会計課長（添田朱実） 公金取扱手数料の中には、収納事務に対する手数料と支払い事務に対する手数料がございます。

口座振替の手数は、今までずっとございました。コンビニ収納のほうもほぼ変わらずというところ。増えた要因といたしましては、銀行で納付書を取り扱っていただいている窓口

取扱手数料が、4月1日から今まで無料だったものが、手数料をお支払いするように変わります。そのために、350万円増額になっております。

それともう一点は、支払い事務手数料のほうがございまして、もうこれは基本的に全国的なものなんですけれども、銀行から銀行に振り込むときに、内国為替手数料というのが発生いたします。そちらが、公金は、令和6年の9月までは無料だったんですけれども、今年の10月から有料になっております。今年度は、半年分だったんですけれども、来年はもう1年分ということになりますので、その分で増加が450万円で、合計の約800万円の増となっております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） ということは、これがもう、この令和7年度からの金額がベースになってくるといって、いいってことですね。

○会計課長（添田朱実） はい、そのとおりです。

○委員長（陶山良尚委員） もう、先言われた。

ほかにはありませんか。

よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページです。70、71ページ、7目財産管理費について質疑はありませんか。

徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） 003の普通財産管理費なんですけど、去年は500万円、当時でその財産管理費は今年度減っているんですね。400万円。ただ、委託料のほうは、去年よりも増えている。臨時工事費のほうは、安くなっているんですけど、その辺の説明を、すみませんが、お願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課長。

○管財課長（堀 修一郎） 普通財産管理費の草刈り等委託料が増えている分については、もう各自治会からの要望が上がっていますので、それと、区が山とかの伐採をしているんですが、隔年で伐採とかしておりますので、年度によって金額は変更になっております。

それと、臨時工事費につきましては、昨年、グランティア太宰府から降りる階段を普通財産の分で、補修をかけているのが、今年はそれが減っている分で、大幅に減っております。

以上になります。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

ほかにはありませんか。

長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 004庁舎維持管理費で、ページ数は73ページの14です。工事請負費、臨時工事と施設改修工事なんですけど、大体約4,000万円ぐらいあります。これは、まず臨時

工事はどこをされるんですか、教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課長。

○管財課長（堀 修一郎） 臨時工事につきましては、臨時ということですので、壊れた箇所を工事するような形で、庁舎の不良箇所が出た場合に工事するものになります。だから、特定のこの部分というのは決まっています。

○委員長（陶山良尚委員） 長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） じゃあ施設改修工事はもう決まっているんですかね、教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課長。

○管財課長（堀 修一郎） 施設改修工事費については、来年度はLEDの改修工事、庁舎のですね、それと自動開閉扉の改修工事、これは身障者用トイレとかの自動扉改修工事、あとは井戸水の水位計の取替え工事、5階議場の録音室の空調設置工事、あと障害者用トイレの呼出し装置の更新工事、あとは上下水道事業センターの看板設置工事が予定しております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） すみません、細目002の公用車管理費、これ増えないといけないと私は思っていたんですけど、結構減っていて、使用料及び賃借料が減っている気がするんですけども、これはどういうことで減るのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課長。

○管財課長（堀 修一郎） 使用料及び賃借料が減っている原因は、マイクロバスの借上料が、昨年からマイクロバスが自前で持っておりましてのを、臨時で借り上げという形に変更しました。令和6年度の実績を見て、令和7年度の予算を策定しております。

以上になります。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） では、もうマイクロバスの臨時で借り上げという形でのやり方は、昨年度よかったから、ずっとこれで行こうということで、令和7年度もその予算ということの解釈ですか。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課長。

○管財課長（堀 修一郎） マイクロバスを借り上げに変えてから、大きなトラブル等もなく、スムーズになっておりますので、このまま進んでいきたいと思っております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

ほかにはありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 先ほどの庁舎維持管理費の関係です。71ページ、説明資料が14ページの上から4段目、これ公共施設LED化の推進ということをちょっと触れられましたけれども、

まず、公共施設の建物内の照明について変えるということで、LED化にするに当たっては、この財源、一般財源じゃなくて、何かしら国の補助があるとか、脱炭素とかエコとかいう形で、有利な起債ができるとか、そういうものが理想なんですけれども、そこら辺どうでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課長。

○管財課長（堀 修一郎） LEDへの変更につきましては、補助金という形ではなくて、起債が充当されるようになっております。予算書の57ページの庁舎整備事業の中にこの部分の起債が含まれております。57ページの市債のところの一番上です。庁舎整備事業債2,311万円が今回のLEDの起債になっております。

以上になります。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですね。

ほかにはありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 同じく71ページなんですけども、予算説明資料32ページ、上から2段目です。公共施設再編検討業務委託料1,000万円、現在、公共施設等総合管理計画第2期がありますけれども、これに続く実施計画的なものだと思いますが、この業務委託で、結論づけるもの、例えば、建物ごとの建て替えの可否、長寿命化廃止とか決定して、さらにスケジュールまでこれで分かるような形になるのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課公共施設整備担当課長。

○管財課公共施設整備担当課長（福田久博） 建物系の公共施設につきましては、まず再編の検討を行うこととしておまして、具体的には令和5年度に改定した公共施設等総合管理計画に基づき、施設再編のモデルプランに示しているいきいき情報センターや、人権センター関連施設などの公共施設について、既存施設の機能を適切に保持しつつ、施設を計画的に複合化しながら、新たな需要に応じていけるよう、調査研究を進めてまいります。

また、公園、公民館、公共施設などに求められる役割や意義について、様々な観点から再整理を行い、公共施設の再定義や多面的活用について検討し、新しい公共の仕組みづくりにつなげてまいります。

まず、建て替えなり長寿命化の部分というのは、まだ進まなくて、今回は検討業務ということで考えております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 建て替えまでは進まないということは、分かりました。取りあえず、個別の建物、公共施設のこれを建て替えるか、もしくは長寿命化するのか、それとか配置するとかの判断までは、この業務の中でいかれるというふうに考えてよろしいですね。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課公共施設整備担当課長。

○管財課公共施設整備担当課長（福田久博） まず、長寿命化に建て替えの部分まではいかないだ

ろうと思います。まず、施設としましては、いきいき情報センターなり、人権センター関連施設ということで報告させていただきます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 関連してなんですけれども、建て替えまではいかないということで、機能的な面での再編を考えるということなのかなと思って理解したんですけれども、それでいいのかというのが一つと、あと対象施設として、いきいき情報センターと人権センター関連等ということでしたけれども、具体的に、現時点で対象とすることが確定しているような施設があれば、等ではなくて、列挙していただければと思うんですけれども。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課公共施設整備担当課長。

○管財課公共施設整備担当課長（福田久博） 具体的な説明としましては、先ほど言いましたいきいき情報センター、人権センター関連施設ですね。あとは、公共施設等総合管理計画の再編のところに乗っております、モデルプランのところに乗ってある部分かなと、今考えておるところです。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 機能面での再編を考えるというふうに理解してもよろしいのかという点についても、お願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課公共施設整備担当課長。

○管財課公共施設整備担当課長（福田久博） まず、機能面といたしますか、まず、今後どうしていくかとか、今後の検討にまず入っていくということで、動いていくということで、報告させていただきます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 71ページ、最後です。予算説明資料15ページの上から2段目、地球温暖化対策の推進関連です。公用車賃貸料として400万円上がっております。これ、リースなんですけれども、この電気自動車の導入の内容ですね、これ400万円の内訳、導入台数、賃貸料、ちなみにこれ購入だと幾らになるのかをお答えください。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課長。

○管財課長（堀 修一郎） 公用車の賃貸料に含まれる29万1,000円については、電気自動車1台分の賃貸料になります。

今回購入する17の備品購入費の軽自動車、電気自動車2台分の金額になります。

以上になります。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 同じく71ページに、軽自動車購入費という形で、601万7,000円上がっています。本市の場合は、ガソリン車はリースでなくて購入なんですね。今回、電気自動車リースするという事は、将来的に変わっていくというふうな形なんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課長。

○管財課長（堀 修一郎） 公用車のリースについては、今までもずっとリースしていた分の電気自動車の分になります。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、72、73ページです。8目契約管理費について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、9目財政調整基金費について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、10目人事管理費について質疑はありませんか。  
馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） 002人材育成費なんですけれども、予算資料説明の中では35ページです。研修制度の改善、もしその内容が分かれば教えてください。それと、育児休業の取得促進や残業の抑制、図りますというのは、どのように進めていかれるんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（鳥飼 太） まず、研修ですけれども、まず、しなやか研修というのが、8節の旅費のところになっております。しなやか研修については、今年度、予算を上げさせていただいております。こちらについては、職員の業務に基づいた研修、それから自己研さん、そういったところをさらに伸ばしていただくということで、予算を計上させていただいているところで

す。  
それから、また、職員の同和問題研修というところでも、予算を計上させていただいておりまして、職員の人権問題意識の向上というところで、研修を予定しております。

それから、育児休業ですかね。育児休業の促進ということで、こちら男性も育児休業を取得を促進させるということで、そういった届出がある前にも、周知を行い、積極的に取得をしていただくということで、そういった情報があれば、直接お声かけをしたりとかいうことで、促進を進めるということで、考えているところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。  
木村委員。

○委員（木村彰人委員） 関連して、73ページ、人材育成費、予算説明資料が35ページです。  
上から3番目、352万9,000円、これ説明資料の文中なんですけれども、幅広い世代を対象に

優秀で多様な人材の積極的な職員採用をするというところ、ここ具体的にどのような採用の工夫をしていらっしゃるか、ちょっとこれ大事なところなので、説明してください。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（鳥飼 太） 職員採用に関しましては、大学卒業、それからキャリア枠ということで、それから専門職等の採用試験を行っているところでございます。

そういった幅広い人材、優秀な人材ということで、年齢も広く設定をさせていただいておりまして、より多くの方を募集について、まず、広報はもちろんホームページでも、広く周知をいたしますし、あと、就職関連の何て言うんですか、説明会、そういったところにも、職員行きて、太宰府市役所ということでブースを設けて、広く人材獲得のためにお声かけをさせていただいているところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） その関係で、就職情報サイトの掲載、これに22万円、今回も上がってまいすけど、これ令和4年、5年、6年と続けておりますが、応募状況に何か変化ありましたでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（鳥飼 太） 応募状況でございますが、実際、増えている状況もでございます。年によって、やはり変わってはきますけれども、増えているというようなことは言えると思います。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 77ページ、職員管理費の続きになりますけど、一番下の人事交流人件費負担金ですけども、900万円、これは、今、観光推進課に課長来られていますけれども、任期が終わって、また別に新しく採用されるということでよろしいでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（鳥飼 太） まだ、内示前でございますけれども、今年度と同様に、というところでの予算計上をさせていただいて、想定をしているということでございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、76、77ページです。2款総務費、2項企画費、1目企画総務費について質疑はありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） そもそもこのICT推進費自体が、2億3,000万円ぐらい上がっているんですか。ちょっと専門的なことは全く分かりませんが、この2億円の上がり方の内容を説明をお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 文書情報課長。

○文書情報課長（立石泰隆） ご説明させていただきます。

主な要因としましては、国のほうが今進めています自治体情報システムの標準化の業務になります。

令和7年度が最終年度となりまして、本市といたしましては、標準化対象業務20業務のシステムのガバメントクラウドへの移行と、それに伴う標準化の対象システムの改修等の事業費がおおよそ2億5,000万円ほどかかる予定となっております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 今、日立システムさんとか、ずっと使っていらっしゃるところとのやり取りの中で、この金額が必要だということなんでしょうか。それとも、これから予算出して、これはまた入札とか、そういう形になっていく金額なんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 文書情報課長。

○文書情報課長（立石泰隆） こちらのICT推進費に関しましては、ADWORLDという住民基本台帳を基に20業務のおおよその業務のほうが、ここの対象に入ってきます。

この実施の前に、既存のベンダーさん、また、近隣市で採用されているベンダーさん、主なところに、移行後の対応ができるかどうか調査したところ、新規の参入については受けられないということでの回答をいただいております。

ですので、当面は、随意契約になるかと想定していますが、そちらのほうの情報につきましても、引き続き情報収集のほうに努めてまいる予定としております。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 基本的なことをちょっと分からなくてすみません。本市には、システムエンジニアとか、こういうICTに強い職員で、何人ぐらいいらっしゃるんですか。

○委員長（陶山良尚委員） 文書情報課長。

○文書情報課長（立石泰隆） 具体的な数字、人数は、承知しておりません。また、ICT推進の専門職としての職種がありませんので、具体的な数字は、強い職員という形での数字はつかめてないところです。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） ということは、例えば、中途採用でもそういったコンピュータ関係の仕事から来られた人も何人もいらっしゃると思うんですね。そういう人たちを集めて、こういう大きい節目のときには、一緒になって検討するとかということはないのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 文書情報課長。

○文書情報課長（立石泰隆） 私どもの課のほうにも、前職がそのシステム系の会社に勤めていた職員のほうもおります。庁内的にそういった関連会社のほうに勤めていた職員のほう、いると思います。プロジェクトという形では組んでおりませんが、先ほど申しましたように、他

のベンダーさんのほうのでの標準化への移行というのがちょっと困難な状況にありますので、ベンダーさんと情報共有しながら、標準化への移行を、作業を進めているところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 門田委員。

○委員（門田直樹委員） すんません、ちょっと一点聞きたいのが、ICTの中で、例えば住民基本台帳とかの中で外字というものは、なくそうという何か方向も聞いたことがあるんですけど、いまだにあるのだったら、それ職員が作ってんのか、外部発注しているのか、外字の取扱いについて、ちょっと聞かせてください。

○委員長（陶山良尚委員） 文書情報課長。

○文書情報課長（立石泰隆） はい、今のシステム、現行のシステムでは、外字のほう、職員のほうで作って、存在いたします。

この後標準化のほうに移行してまいりますと、国のほうが、決められた文字に同定作業を進めて、行政システムで使う文字というのが定められているという状況になっています。

○委員長（陶山良尚委員） 門田委員。

○委員（門田直樹委員） そんなふう聞いてるので、そのときに何て言うかな、いや、うちはこれじゃないといかんみたいな話にならんじゃなからうかと心配したんで、その辺の対応は、国の方針というのはあるんですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 文書情報課長。

○文書情報課長（立石泰隆） 文字の同定につきましては、今順次、国のほうからでも、この文字を使いなさいということで示されているところです。ですので、今現在、要望をすることは可能なんですけども、本市としましては、最終的に決められた文字で対応していくという形で、方針を進めているところです。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 先ほどの小島委員の質問に関連してなんですけれども、私、標準化というのがどのレベルで、どこまでって詳細を把握してるわけではないんですが、基本的な考え方に関することなんですけれども、実態において、随意契約になりそうだということは、あろうかと思えますけれども、標準化が進む中で、その業務を委託先は、その入札によって選べるようになっていくと、もしくは、そのようにしていきたいというような考え方で動いてはおられるのでしょうか。その辺を教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 文書情報課長。

○文書情報課長（立石泰隆） そちらのほうも、将来的には、国のほうからも説明あつてます。標準化することで、どこの自治体がどのベンダーさん使っても同じものになるということで説明を受けていますので、説明どおり、私どものほうとしては、将来的には競争入札なりという形の競争が働くようになると考えております。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） ちょっと関連して、77ページ、ICT推進費、予算説明資料の36ページの上から1段目、160万8,000円の件です。これ、説明の内容の中で、職員間のチャットツールを活用しますというのは分かりました。そのほかに、後段のほう、デジタル化を推進する各種施策に関する取組を行うということで、令和7年度の取組について、具体的なご説明をお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 文書情報課長。

○文書情報課長（立石泰隆） これは令和6年度から、実際進めているところなんですけども、各部署のデジタル推進、活用できる部分について、予算は伴っておりませんが、文書情報課の職員のほうが、DX化を進めれるように、ベンダーさんとか、情報提供とかいった形のところで関わっていているところなんです。

また、総務省のほうの支援の分等で、無料でアドバイザー派遣とか、ウェブでのアドバイスいただける支援がありますので、そちらを活用しながら関わっていくように、DXを推進するような形で考えております。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 79ページ、005総合教育会議関係費なんですけども、委員の費用弁償が2万3,000円が上がっていますけど、会議録作成委託料が入っていないんですが、これ、取扱いとしてはこの教育会議自体の扱い、今どうなっているのかという現状を教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） 会議録作成委託料につきましては、令和6年度までは予算を計上させていただいておりましたが、令和7年度につきましては、会議録の文字起こしのツールを導入いたしますので、職員のほうでそれを使って、自前でやろうということで、令和7年度から予算を計上していないところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） それは、職員さんの業務負担が増えるということにはならないでしょうかというのが一つと、先ほど質問しましたけど、今、その教育会議は、年2回程度行われているのか、現状をちょっと教えていただきたいです。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） 職員の負担というところですが、捉え方によっては負担と感ずることもあるかもしれませんが、導入する意義といいますのは、委託をしますと、やはり時間もかかったりします。また、ツールを使いますと、逆にいろんな機能がございまして、要約をしてくれたりとか、AIが入っているような最新のものになりますので、そういったところで、トータルとしては、導入するメリットが多いというところで、導入をさせていただこうと思って

おります。

それから、総合教育会議につきましては、予算としましては、今回は3回分計上しております。令和6年度の状況につきましては、2回の実施を予定しているところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 今回のツールを使っただけの文字起こしということに関してなんですけれども、その方針を、今回その総合教育会議について、そうやってみようということなのか、全庁的にそういう方向で動きつつあるのか、そういう移行の進め方の規模といいますか、考え方というか、その辺をちょっとお聞かせください。

○委員長（陶山良尚委員） 文書情報課長。

○文書情報課長（立石泰隆） こちらの文字起こしツールですが、先ほど経営企画課長のほうが申しましたように、AI搭載した文字起こしツールになります。

こちらのほうは、私ども文書情報課のほうで管理して、こちらの総合教育会議に限らず、全庁的な会議において、利用していくものとして、備える予定としております。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） ということは、会議録等の公表等が、以前よりも少し早くなることが見込めるのかというのが一つと、あとちょっと気づいていなかったのも、お尋ねしますけれども、文書情報課のほうで、それに関する予算というのが、どこかで示されているのかというのを、あれば教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 文書情報課長。

○文書情報課長（立石泰隆） 公開までの日数につきましては、それぞれの会議を持っている所管課の作業のほうがありますので、短縮できるかどうかというのは、私のほうでお答えはしにくいところありますけれども、こちら、一応音声を読み聞かせれば、もう会議録として文字を起こしていきますので、会議の中で使った文字がおかしかったりとか、変換ミスとかがありますので、基本的にはそちらを修正していくというような形のものになります。

こちらの予算につきましては、本体ですと、ライセンスの使用料になりますので、77ページの2款2項1目001ICT推進費の本体は、13節使用料及び賃借料のソフトウェア等ライセンス使用料のほうに含まれております。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） ちなみにお幾らぐらいなんですか。

○委員長（陶山良尚委員） 文書情報課長。

○文書情報課長（立石泰隆） ライセンス料が、初期導入費が5万円の消費税、月々が3万円の消費税となっております。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいでしょうか。

それじゃ、木村委員。

○委員（木村彰人委員） 79ページ、予算説明資料が38ページ、上から3段目、ネーミングライツの導入100万円の件なんです。これ私聞き漏らしたかもしれませんけど、具体的なネーミングライツの対象となる公共施設がどこなのかをお伺いします。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） ネーミングライツ、予算としましては、こちら事務費で10万円上げさせていただいておりますが、歳入のほうで予算書の49ページになります。財産収入の施設命名権収入ということで、100万円ですね。17款財産収入、1項1目施設命名権収入100万円でございます。こちらにつきまして、令和7年度からの新たな取組にはなるんですが、今のところ想定しておりますのが、極力幅広く提案型ということで、市のほうでここというふう指定をして募集するという方式ではなくて、基本的には市の公共施設幅広く可能ですよということで、事業者側のほうから、ここに付けたいということ、募集を募るという方式のほうが集まりやすいんじゃないかなというところで、今のところはそういったことを想定しております。

それから、施設につきましては、ただし、教育施設ですとか、福祉、市役所本体とか、あと文化財関係、こういったところは除外する必要があるかなというところで、今のところ考えているところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

文書情報課長。

○文書情報課長（立石泰隆） すみません、戻りますけども、先ほど笠利委員のほうからご質問があった文字起こしツールの利用料の件なんですけども、もう一点ちょっと追加をさせていただきたいんですけども、よろしいですか。

○委員長（陶山良尚委員） はい。

○文書情報課長（立石泰隆） 先ほど初期導入費5万円と利用料3万円の消費税と申し上げましたけども、それにプラスして、IP制限、IPアドレスの制限をかけるために、月4,000円の消費税がかかるようになります。すみません、追加させていただきます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですね。

そうしたら、木村委員。

○委員（木村彰人委員） 79ページ、ふるさと納税関連業務委託料、予算説明資料28ページ、上から1段目です。

ふるさと納税の収支について、予算をいただければよかったですけど、申し訳ないです。令和6年度の寄附額の見込みと同関連業務委託料の見込みを教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） 令和6年度の寄附額の見込みということ、まだ途中でありますが、今のところ約15億円前後というところで見込んでいます。

委託料につきましては、ちょっと最新の数字はまだ手持ちありませんが、基本的には50%以下に抑えるというルールがありますので、その範囲内で執行しているところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 15億円ということで、ちょっと少ないんですね。そこで、それに関して、今のところ、令和6年度ふるさと納税の寄附状況のちょっと分析をちょっとお伺いしたいんですけれども、どういう状況であったかというのを。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） 令和6年度ということで、まだ途中で、ございませんので、また詳細については決算のときにはしっかりご説明させていただこうと思っておりますが、少し予算としては20億円計上しているところで、15億円というところで、少し届かないかなという見込みになっておりますが、要因としまして、やはり、令和5年度が、かなり18億円以上の寄附をいただいたところでございまして、要因としましては、令和5年度には制度改正がございました。5割ルールの徹底化ですとか、地場産品基準の厳格化ですね。この辺りの駆け込み需要というところで、令和5年度かなり寄附をいただいたというところがございます。10月前にですね。

それから、令和6年度は、やはり、今いろいろ状況を見ておりますと、ふるさと納税市場自体はやはり少しはまだ伸びているんじゃないかなというふうに、いろんな情報から判断しております。ただ、太宰府市は、取組がかなり先行して、様々な他自治体がまだ取り組んでないような広告展開ですとか、そういったところをやって寄附を伸ばしてきた状況があったんですが、やはり少し後発と言ってはあれですけれども、いろんな自治体が、同じような取組をしてきて、少し平準化といいますか、少し横並びになってきたとか、そういったところもございます。

また、太宰府市の返礼品で、主力で出していたような商品が幾つかの厳格化に伴って、基準の厳格化に伴って出せなくなったとか、様々な要因がありますので、しっかりここは分析してやっていきたいと思っております。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 分かりました。それを受けて、令和7年度のふるさと納税の方針ですよ、寄附額とあと経費と、それとあと今回企業版ふるさと納税も加味しているというふうに見えるんですけど、そこら辺のご説明いただきたいと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） 予算書で言いますと、歳入のほうになります、51ページになります。18款寄附金、1項1目一般寄附金のふるさと太宰府応援寄附と企業版ふるさと太宰府応援寄附ということで、ふるさと納税自体は20億円ということで計上させていただいておりますが、内訳としまして、ふるさと太宰府応援寄附、こちらが個人版のほうになります。こちらを17億円、それから、企業版ふるさと太宰府応援寄附、こちら企業版ふるさと納税になります、こ

ちらは3億円ということで、合わせて20億円ということで、令和6年度は個人版と企業版を合わせて20億円ということで、同じ20億円で変わりはないんですが、令和6年度までは基本的には個人版を中心に考えておったところですが、令和7年度につきましては個人版が17億円、企業版が3億円というところで、内訳としては変わってきております。

それから、令和7年度の取組につきましては、また令和7年度にも、制度の改正がございます。予定されております。

内容としましては、10月になるんですが、サイトでのポイント付与が禁止をされるという、ふるさと納税のサイトで寄附された方が、そのサイトからポイントが付くようなことで、今非常に市場が伸びてきているというところがあるんですが、こういったものが禁止される方向性になっております。

ですので、令和5年度と同じく10月前の駆け込み寄附というのが想定されますので、年度初めから、しっかりここに照準を絞って、いろんな取組をやっていきたいと思っているところがございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 関連ですみません、確認なんですけれども、ふるさと納税の関連業務委託料が9億9,000万円から1億3,000万円ほど減っているということで、これは、業者を減らしたということではないということですか。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） 委託料の減少につきましては、先ほどご説明した内容に関連してくるんですが、令和6年度はほぼ個人版の想定であったものが、令和7年度は個人版17億円、企業版3億円ということにさせていただいておりますので、委託料のほうが、個人版のほうが基本的に全てかかってきますが、企業版につきましては、直接寄附をいただいた分については、手数料がかかってきませんので、そういったところでの減少ということになっております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） 79ページ、004総合企画推進費のうちの100万円、予算説明では32ページなんですけども、新しい公共座談会の実施なんですけども、去年、新しく事業として、市長と語る会から、こちらに移行されたと思うんですけれども、実際、実績状況というか、実績の回数、内容、そして、今年の実施計画をお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課広聴広報担当課長。

○経営企画課広聴広報担当課長（平嶋香代子） 今年の実績として、語る会という名称の中では、実績はございませんが、様々な防災だったり、あと、福祉、子育て、教育もそうですけど、様々なシーンで、市長自らも実際にいろいろな行事も参加をされながら、話を直接聞かれたり、あと、実際に市役所のほうに、それこそ面談という形で、話しに来られる団体さん、個人の方

も多いですので、そういったところのすみません、回数と言ったらならないんですけども、大体、過去も年間平均、市役所の本庁来られるだけでも200件ぐらいはございますので、これからも、そういった、令和7年度に関しましても、まだ、具体的に何回という数字では挙げられてないんですが、様々な団体さんの主体的な参画も含めて、いろんな手法が考えられると思いますので、いろんな関係課と協議をしながら、検討しながら、そういった座談会、新たな、それこそ公共の仕組みづくりのパッケージの中の一部でございますので、そういったところで、検討をしていきたいというふうになっております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） ありがとうございます。何か新しい公共の座談会という形で開催されるわけじゃなくて、そういうの関わりの中で、もう随時やっているということですね。

○広聴広報担当課長（平嶋香代子） 新年度に関しましては、今から検討していく形ですので。

申し訳ないです。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課広聴広報担当課長。

○経営企画課広聴広報担当課長（平嶋香代子） 今年度に関しては、今お話ししたようなことの実績です。新年度に関しましても、またその都度、検討しながらやっていくという形になっております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2目公文書館費について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、80、81ページ、3目交流費について質疑はありますか。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 81ページの大学等交流事業費の25です。大学設立支援金というのがありますけれども、これ先週の令和6年度補正8号だったかな。にあった2億円のものと同じような仕組みのものと考えてよろしいでしょうかね。

○委員長（陶山良尚委員） 国際・交流課長。

○国際・交流課長（松井百合子） おっしゃるとおりです。同じ内容となっております。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 先週説明してくださったのは宮原課長だったかと思うんですけども、そのときの説明で、2億円の寄附の申出を受けたので、2億円を学校法人に寄附するという事業を立てたという説明があったかと思うんですけども、それと同じような事業を、今回も設定するというふうに理解してよろしいんですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） 内容につきましては、国際・交流課長からご説明しましたように、令和6年度の補正予算で計上させていただいたものと同じ、仮称であります。福岡国際音楽大学への支援金になります。

こちらの財源につきましては、先ほど私のほうからご説明いたしました企業版ふるさと納税3億円、このうちの2億5,000万円を充てるというところで計上しております。

令和7年度につきましては、この2億5,000万円の支援金を計上させていただいた背景ですが、既に令和6年度も、2億円余りの寄附をいただいているところでございまして、音楽大学設立を支援する会ということで、福岡の財界のほうが支援を、福岡を代表する企業が続々と支援を表明されておりますので、まだ、具体的に、寄附をいただけるというお申出をいただいているわけではないんですが、一定程度の寄附は見込めるだろうということで、あらかじめ予算化しておくということで、計上させていただいております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 何らかのその寄附の申出というのが、具体的にあつての事業化ではないということですね。つまり、申出書のようなものはまだ受け取っていないということよろしいでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） 令和7年度のこの2億5,000万円につきましては、寄附の申出書というのは、まだいただいてないという状況でございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

（笠利 毅委員「もう一つ」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） その上で、先ほど言ったような形で、事業を起案して、決裁を取って、今回の予算提案になっているということかと思うので、その点では、前回の補正のときとは、少し仕組みが違っているというふうに理解してよろしいですか。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） 仕組みとしては、同様の企業版ふるさと納税の制度を使つての予算になりますと、同じなんです。寄附をいただくタイミングと申しますか、寄附をいただいて、予算化するという手法が、令和6年度になります。これは、あらかじめ予算化していくということで、令和7年度は考えております。

毎回補正予算を上げるということも、時間的な制約等もございまして、寄附をいただくタイミングと申しますのが、予算化した後にいただくということもあれば、ただ企業版ふるさと納税が、国の制度でございまして、企業側の決算の時期等もございまして、企業さん側の決算時期で、いついつまでに寄附をしたいということで、国側の税制の制度になっておりますので、そ

ういった、今後も、先に寄附をいただくとか、予算化して、その後いただくとか、いろんなパターンが出てくるかと思いますが、令和7年度については、あらかじめ予算を2億5,000万円については、もしこれを超えるような寄附をいただければ、また補正予算なりお願いするということになっていきますが、一定額については、当初予算から組んでおこうということでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 市の側の予算、寄附を受ける体制の準備に関する質問なんですけれども、地域再生計画というのが新しくなろうかと思えますけれども、その中に、寄附を受けて支援するという事業は、はっきりと載っているのかということをお聞かせいただければ。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） 地域再生計画といいますのが、この企業版ふるさと納税です。地方創生応援税制と言いますが、これに市のほうが計画を上げておくというものになるんですが、こちら、基本的には、太宰府市の総合戦略に準じたものになっておりまして、現在もそうなんです、個別の大学の新設に支援金をするというような、具体的なところまで、全般として書いているものではございません。少し幅広に、計画を持っておいて、いろんな内容に対応できるようにということで、やっておりますので、新たな計画、今、国のほうに出しつつあるところなんですけれども、それについても、具体的に書いているというところではございません。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員、大分質疑が長引いていますけれども、まだされますか。

○委員（笠利 毅委員） はい。

○委員長（陶山良尚委員） ほかの委員さんもいらっしゃいますんで、その辺はちょっと。

○委員（笠利 毅委員） 後でもよろしいですけれども。

○委員長（陶山良尚委員） いや、後というか、これはこの自体はこれ今やっていますから。

○委員（笠利 毅委員） 続けさせていただければ。

○委員長（陶山良尚委員） ある程度、私のほうで、限度は切らせていただきますんで。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） ということは、2億5,000万円という金額は、太宰府市で判断して、これだけを寄附したいというような形に基本的にはなろうかと思うんですけれども、2億5,000万円という金額が妥当であるというふうに判断した、太宰府市の施策として、2億5,000万円だという判断理由、根拠といったものを説明していただければと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） 2億5,000万円の根拠になりますけれども、こちら繰り返しますが、企業版ふるさと納税の制度にのっとった予算でございます。一般財源を使わないとい

うところで、寄附金を全額支援金に充てさせていただくというところでございます。

令和6年度、既に2億円の寄附をいただいたという実績がございましたので、そこを基本に、令和7年度も同程度はいただけるのではないかとというところで、2億5,000万円という数字を出したところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 今の続きですけれども、続きというか、関連してですけれども、太宰府市側のほうから企業側に2億5,000万円の寄附を音楽大学のほうにするということにしたいというようなお話をされるということですか。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） 寄附の意向は、企業側からの意向になりますので、太宰府市のほうから特定の企業に働きかけをするという、今のところはございません。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） これ、歳入のところは寄附金2億5,000万円というふうにあるんですけども、企業版ふるさと納税で入ったものをこれに充てるということで、個人、今歳入で17億円と入ってますけど、そこから出すということではないということでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） 委員ご指摘のとおりでございます。企業版ふるさと納税としていただく寄附金を充てるということで、個人版のほうを充てるということではなっておりません。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

（木村彰人委員「まだあります」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） まだありますか。

（木村彰人委員「はい」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） あまりちょっと深掘りしても、ここは質疑の場なんで、先ほど根拠まで求められましたんで、それ以上はないと思いますんで。

それでは、次に参ります。

また、違った角度からであればいいですけども、それも同じような形で、また続きますと、もうこれ以上は、多分回答はないと思いますんで、取りあえず、様子見させていただきますのでお願いします。

○委員（木村彰人委員） 今回の音大設立を支援を指定する企業版ふるさと納税は、法人税法基本通達の第9条第4号第4項が禁止する自治体を単なる経由地、トンネルとして利用し、特定の団体へ寄附を行う行為に該当するのではないかとというところで、ちょっと私も心配してるんですけども、そこでお伺いします。

この企業版ふるさと納税を利用した音大への直接の寄附ですよ。匿名の。これについては、補正予算のときも聞きましたけれども、まず、内閣府への照会をして、内閣府の回答を得ているのか。

○委員長（陶山良尚委員） それは、あなた、補正予算の中でも言われましたよね。だから、最後まで聞かれても、そのときに回答されてますんで、それ以上は、ちょっとないと思いますんで、木村委員。

○委員（木村彰人委員） じゃあ、これは制度のほうですからね、内閣府。じゃあ、これ肝心なところですよ。これ、国税庁への照会が必要なんですよ。国税庁への照会をして回答を得ているのか。

○委員長（陶山良尚委員） あのですね、木村委員、制度の問題はこれ国の関係なんですよ。この間も課長答えられましたけども、ちゃんと内閣に確認をしながらやっているということで、回答されましたんで、何を求めているかよく分かんないです、私は、木村委員。

○委員（木村彰人委員） 前回の質問では、内閣府へ確認しているのかということに対しての宮原課長のお答えは、電話で確認しているということでした。その後、私も、一応確認のお問合せのネット窓口がありますので、確認しましたけれども、やはり、当事者じゃないと、確約的なお答えはできないという話。

そこで、一般的な話で回答いただきましたけれども、これ、説明義務は各自治体にありますということでしたので、そういう意味で聞いています。

○委員長（陶山良尚委員） だから、それは、補正予算のときにそれは回答されているじゃないですか。

○委員（木村彰人委員） 今回、補正予算じゃないでしょ。

○委員長（陶山良尚委員） いや、違いますけども、またそれ聞く。

○委員（木村彰人委員） 聞きます。

○委員長（陶山良尚委員） じゃあ、取りあえず、経営企画課長、回答をお願いします。

○経営企画課長（宮原 竜） 補正予算のときにも回答させていただいた内容と重なると思いますが、これは、太宰府市としましては、企業版ふるさと納税地方創生応援税制にのっとりて手続どおりやっております。

内閣府の確認も行っております。それから、議員の方から、企業から大学への直接の寄附というふうなご質問でございましたが、こちらはあくまでも、太宰府市のほうが寄附をいただきまして、太宰府市が大学側に支援金を行うということで、あくまでも寄附企業の意向も踏まえ、市のほうで大学に支援を行うということを決めていると、そういった立てつけになっております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） じゃあ、最後。

○委員（木村彰人委員） 最後というか、先ほど聞きました、これ、肝心なところは、企業が、この企業版ふるさと納税を行ったことよっての税の控除の申請をするのは、国税庁ですので、国税、法人税ですので、国税の確認をやっぱりこれ制度を運用する自治体としては、やっておくべきだと思います。これはやっていますか。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） 制度にのっって、適切に対応しておりますので、今回、個別に問合せするといったことは行っておりません。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） もうこれ以上、深まることはないと思いますし、制度の問題に突っ込まれても、それは国のほうの関係で、今課長がおっしゃったように、ちゃんと国と協議しながらやっているということですので、それ以上はないと思いますので、ここで打ち切ります。

それでは、ここで、11時25分まで休憩いたします。

休憩 午前11時12分

~~~~~ ○ ~~~~~

再開 午前11時25分

○委員長（陶山良尚委員） 再開いたします。

80、81ページ、4目男女共同参画推進費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、82、83ページ、5目地域づくり推進費について質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 83ページ、コミュニティバス運行補助金、予算説明資料が34ページ、上から6番目です。

運行補助金が、昨年度1億7,284万8,000円に比べて、3,211万4,000円増えている。結構大きいです。まず、この理由をご説明ください。

○委員長（陶山良尚委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（古賀千年志） コミュニティバス運行補助金につきましては、昨今の人件費をはじめとした様々な物価の高騰、また、燃料費の高騰、それと併せまして、車両の中に搭載しております機器、こちらの更新にも費用を要するものでございます。また、働き方改革に伴います処遇改善によるもの、また、定年延長など、運転手不足などに対応していただくために、通常の人件費のベースアップ以上に、特殊要因といたしますか、そういった部分での費用がかかっているような状況でございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 予算説明資料の中に、運賃の見直しによる収入の増加を検討する的なこ

とが書いてありますけれども、令和7年度、運賃改定の予定があるのか、お答えください。

○委員長（陶山良尚委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（古賀千年志） 予算説明資料にも記載してございますが、やはり運行補助についても、金額について増額しておりますので、運賃等についての見直しについても、検討が必要であるものと認識しているところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 関連してなんですが、昨年度の運行支援金分がアップしていたと思うんですけども、またこの令和7年度も、この分がアップするという認識だと思うんですけども、これは、この物価高騰の折とか、働き方改革というような今のご説明があったんですけども、これは西鉄側との案分とかいう形にはならず、こちらがやはりそれも見ていかないといけない形にこれからもなっていくという予想でいいんですか。

○委員長（陶山良尚委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（古賀千年志） 令和5年度の決算の際にご質問があったかと思いますが、コロナ交付金による支援というふうな形の補助等は行ってきたところではございますが、こちらに計上しておりますコミュニティバス運行補助金というのは、まほろば号と地域線、こちらについての運行経費から収入等を差し引いた分、俗に言うそちらのほうの補助金になっておりますので、市のほうで対応していくべきものというふうに考えておりますので、西鉄さんにその部分についての負担というふうな形では現状のところでは考えていないところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

ほかにはありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 85ページ、路線バス運行維持補助金のほうです。

運行維持補助金、昨年度400万円、これは宇美線だったと思います。から1,400万円と1,000万円増えているんですけども、この増額の内容、内訳をご説明ください。

○委員長（陶山良尚委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（古賀千年志） 路線バス運行維持補助金でございます。

委員お見込みのとおり、昨年度まで宇美線、宇美・太宰府線について計上させておりましたが、今回、議会連絡会等でもお知らせしておりましたが、西鉄路線星ヶ丘線、それと南ヶ丘線、こちらについての一定の補助が必要になったことにより、増額で計上させていただいているものでございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 増額の内容、今の質問に答えがあるかと思ったんでお尋ねするんですけども、昨年が400万円の予算で、それが宇美線の方だったということなんですけれども、星

ヶ丘線、南ヶ丘線、それぞれ数字があろうかと思うので、そこを内訳としてお示しいただければと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（古賀千年志） おおむねの内訳になりますが、宇美・太宰府線については400万円程度、星ヶ丘線については800万円程度、南ヶ丘線については200万円程度を計上させていただいております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） その続きなんですけど、連絡会のとにか何かにか、一定のその計算の仕方があって、すごくこういう数字を出しているというのが、口頭で聞いたので、メモし切れていないんですけども、少しゆっくりとはっきりと、どういうふうにしてこういう数字を出すのかということの説明していただければと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（古賀千年志） 路線バス補助の維持補助金についての算出については、これまで宇美・太宰府線においては、運行距離、こちらによってかかる費用の案分をしてきたところがございます。

今回も同様に、南ヶ丘線、星ヶ丘線についても、同じ考え方によって算出しているところがございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 案分するに当たっての、何分の何で掛ける額、だから分子にあたるっていうのかな。掛け算する前の数字ですね、元となる金額というのはどこから導くんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（古賀千年志） 路線バス自体のその距離的なものは、西鉄さんのほうで示されている部分がありますので、どうしても市境であったら、市域がなかなか難しい部分がございますが、その路線の設定の中での、例えば、宇美線であったり、南ヶ丘線であったら筑紫野市さんと太宰府市の距離であったり、そういったものから、そちらの合計が分母に來まして、市の負担、太宰府市の負担としては、分子のほうで太宰府市の距離分というふうな形になります。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 83ページの細目003地域コミュニティ推進費の中に、高齢者向けのスマートフォン講座があったんですけども、これはもうなくなったということか、ほかでする形になるのか、ちょっと教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長（高田政樹） 高齢者向けスマートフォン講座の予算についてですが、これまでの委託のやり方では、講座を実施できる自治会の数が限られていたため、令和7年度については、職員によるスマートフォン講座を予定をしております。

職員で実施することによりまして、高齢者の集まるイベントに出向くなど、より柔軟に機動力を持って自治会を回ることが可能になるのではないかとというふうに考えております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） それは、地域コミュニティ課の職員がということによかったですか。

○委員長（陶山良尚委員） 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長（高田政樹） そのとおりでございます。

（小島真由美委員「はい、分かりました」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはよろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 84ページ、85ページです。2款総務費、3項徴税費、1目税務総務費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2目賦課徴収費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページ、86、87です。2款総務費、4項戸籍住民基本台帳費、1目戸籍住民基本台帳費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、90、91ページです。2款総務費、5項選挙費について質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 93ページ、参議院議員選挙及び市長市議選の一般選挙費について、現在、県知事選、期日前投票所は2か所ですけれども、そのときたしか補正予算で、これからずっと2か所であるという話をちょっと聞き漏らしました。これから、参議院選挙、市長市議選も、期日前投票が2か所でしたよね。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（鳥飼 太） 今回、初めて2か所目ということで、とびうめアリーナの期日前投票所を開設させていただきまして、たくさんの方にいらしていただいております。今後も、同様の体制でできたらというふうに考えておるところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、94、96ページ、2款総務費の6項統計調査費、1目統計調

査総務費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) 次に、2目基幹統計調査費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) では、96、97ページ、7項監査委員費、1目監査委員費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、98ページ、99ページ、3款民生費に入ります。

1項社会福祉費、1目社会福祉総務費について質疑はありませんか。

小島委員。

○委員(小島真由美委員) 99ページの細目が004社会福祉協議会関係費、昨年7,900万円ぐらいが増えている。これ増えた要因をちょっと教えてください。

○委員長(陶山良尚委員) 福祉課長。

○福祉課長(山崎 崇) 社会福祉協議会関係費の増えた要因でございますけれども、3月補正へ計上させていただきました給与規程改正による人件費増、来年度がOSサポート終了に伴うパソコンの入れ替え、バス委託料単価の見直し、それぞれそういった関係のものによる委託料増、そういったもので増額させていただいているところです。

以上です。

(小島真由美委員「分かりました。ありがとうございます」と呼ぶ)

○委員長(陶山良尚委員) ほかにありませんか。

馬場委員。

○委員(馬場礼子委員) 007生活困窮者自立支援関係費のうちの説明資料は、すみません、23ページ、孤独・孤立対策の推進なんですけど、去年は36万円ぐらいの予算で、今度は300万円ぐらい上がっています。去年に関しては、実態の把握に努めるというところでの予算だったと思うんですけども、今回は、実際支援の取組を行うということでしょうか。

○委員長(陶山良尚委員) 生活支援課長。

○生活支援課長(木村浩一) こちらにつきましては、ひきこもり本人やひきこもりを持つご家族に対応するための相談支援員として、週2日、1名の人員を業務委託により配置するものであります。

以上でございます。

○委員長(陶山良尚委員) 馬場委員。

○委員(馬場礼子委員) ありがとうございます。もう実態把握というのは、もうちゃんと数字的に出ているのでしょうか。

○委員長(陶山良尚委員) 生活支援課長。

○生活支援課長（木村浩一） すみません、こちら実態の人数というか、まずは、昨年9月に行いましたひきこもりウェブアンケートにつきましては、37人の方からのアンケートを答えていただいたということと、あと、11月にこちらひきこもりのアンケートということで、介護支援専門員に対して、アンケートしたところ13名、そして県のほうにも、県のひきこもり地域支援センターのほうにも年間30件程度の相談がある。そして、うちのほうの生活の困り事相談のほうにも、約年間10件程度、報告があっているところでもあります。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 二つあります。

101ページ、細目008地域の居場所づくり推進事業費、これ9団体だと思います。270万円ぐらいから200万円に減っている要因を教えてください。それと、老人福祉センター管理運営。

○委員長（陶山良尚委員） 一つずつ行きますから。

○委員（小島真由美委員） ごめんなさい。

○委員長（陶山良尚委員） 生活支援課長。

○生活支援課長（木村浩一） こちら居場所づくりにつきましては、今現在、11団体、増えているんですけども、実際、昨年、実施を昨年7月から、こちら実施したんですけども、やはり、まだ応募がちょっと少なかったというところもありますし、あと企業の助成金を使っているところもありますので、そこでちょっと、来年度については、ちょっと減らすような形で、計上のほうしているところでもあります。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） もう一つ。もう1点。2目ですね。そうか、じゃあいいですね。

ほかにはありませんか。

馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） 小島委員に付け加えるんですけども、ということは、2団体増えている新しくこの公共のあれですね、今後、どのくらいの目標値というのは何か設定されての動きはあるんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 生活支援課長。

○生活支援課長（木村浩一） 令和6年度につきましては、2団体増えまして11団体という形になっております。そして、令和7年度につきましても、何件か相談のほうが上がっております。最終的に何団体かというところの目標というのは定めてないんですけども、やはり小学校校区に二つ以上、常時開設というところを、一応目指しているところでもあります。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次に、2目老人福祉費について質疑はありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 先ほどの社協の関係費は、かなり増えたんですが、老人福祉センター管理運営費は、逆に減っている形、ちょっと横ばいからちょっと減っているぐらいなんですが、こちらはかなり老朽化も激しいし、管理運営費の中での委託料自体は、見直しとかななくても、この金額でいけるという見通しなんでしょうね。

○委員長（陶山良尚委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（大山清敬） 老人福祉センターの運営管理費につきましては、3年間ということで、指定管理ということで、社会福祉協議会と締結を結んでおります。

令和7年度が最終年度でございますので、3か年目の一番最後の年でございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

ほかにはありませんか。

長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 敬老事業費なんですけど、004のね。市民との意見交換会でも質問があるんですけど、自治会が、もう敬老会等を行わないといった場合には、補助が出てないということでもいいんですよね。

○委員長（陶山良尚委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（大山清敬） 令和2年度のコロナになりまして、今まで一堂に会して行っていました敬老会というのは自粛されまして、それに代わって、今現在、半分の自治会のほうで、商品券を、そういった記念品を配布したり、そういった事業をされております。

ですので、一堂に会しての敬老会をすところ、もしくは記念品を配布するところ、いずれにしる敬老事業を行っておる自治会につきましては、市のほうから補助金を交付しているところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） だからもう、その敬老の日をやらないと言ったところには、補助金はもう渡していないということでもいいんですよね。

○委員長（陶山良尚委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（大山清敬） 委員のお見込みのとおりでございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 002在宅老人福祉費の中なんですけども、令和6年度予算書に介護予防・生活支援活動団体補助金というのが120万円ぐらいあったと思うんですけど、これがゼロになっていると思うんですけど、その経過をお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（大山清敬） こちらにつきましては、介護保険事業の特別会計にも、同じ補助金がございまして、一般会計との違いと申しましたら、活動回数がより多く活発しているところは、介護特会のほうでしておるところです。

今後、高齢者を取り巻く環境の中、より活発な活動を促すために、令和7年度から、そちらの特会のほうに全て移行するという形で、一般会計のほうは廃止しております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですね。

ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、102、103ページです。3目障がい者対策費について質疑はありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） それでは、細目001障がい者施策等推進費の中の委託料の障がい者プランはいいとして、この窓口のコミュニケーション支援システム構築業務委託料です。これは、アクセシビリティというか、障害者向けの聞こえづらい方への配慮の新しい新規事業ですが、少し説明を入れてもらっていいですか。

○委員長（陶山良尚委員） 福祉課長。

○福祉課長（山崎 崇） 窓口コミュニケーション支援システムですけれども、聴覚障害のある方や難聴者の方々が窓口にお越しになられたときに、職員の説明の音声をリアルタイムで認識して、それをタブレット端末を介して音訳通訳システムを利用して、窓口を設置する透明スクリーンに文字を表示するようなシステムで、会話の聞きづらさやそういったものを解消するようなシステムを考えているところでございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 窓口は、福祉課の窓口を設置ということでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 福祉課長。

○福祉課長（山崎 崇） 福祉課の窓口を想定しております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 今、各自治体、近隣市もそうですが、骨伝導補聴器の設置が進んでるんですけども、本市としては、これを福祉課の窓口置くという形で、こういう形で、ほかの窓口とか、地域包括支援センターであるとかという形でのこれからの展開になるのか、他市は、補聴器は耳の中に入れなくても振動で聞こえるというのを置いているんですけども、本市の方針としては、どんな感じかちょっと教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 福祉課長。

○福祉課長（山崎 崇） 令和7年度に、この窓口コミュニケーション支援システムを福祉課の窓口にまず設置しまして、それを検証してみる必要があらうかとは思っております。

福祉課の隣、介護保険課もございますので、一緒に使うというのもあり得るのかなというふうなところを考えております。そういったところを検証しまして、委員ご指摘の骨伝導、あれですね、あれもちょっと検討していかなきゃいけないかなというふうに考えているところです。以上でございます。

○委員（小島真由美委員） ありがとうございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 105ページ、障がい者自立支援給付事業費について。

○委員長（陶山良尚委員） まだそこまでいってないですね。

○委員（木村彰人委員） いってない。

○委員長（陶山良尚委員） いってないです。

○委員（木村彰人委員） 待っときます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね、そうしたら。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、4目障がい者自立支援費について質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 105ページ、障がい者自立支援給付事業費について、介護・訓練等給付費が昨年度、当初予算ですね、13億5,000万円から今回15億8,000万円、もしかしたら途中で補正予算で増額されているかもしれませんが、2億3,000万円、これ、財源、県ですけれども、2億3,000万円も増えているので、この増額の理由をご説明ください。

○委員長（陶山良尚委員） 福祉課長。

○福祉課長（山崎 崇） 障害に対する理解が深まったというところも一つあらうかと思います。

それとあとは、お子様からお年寄りまで、いろんな世代において、非常に精神的なストレスが増えるような社会というところで、精神の障害の方が増えているということが一つの要因かと思っております。

厚生労働省が調査した調査ですけれども、精神疾患を有する外来患者の数の推移というのが、平成29年から令和2年に50.6%増えているというような傾向がございます。こういったところからも、全国的に精神的なストレスを感じる方が増えているというところが大きな要因かというふうに考えているところです。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、106、107ページです、5目援護関係費について質疑はあり

ませんか。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 当初予算説明資料の41ページ、下から2番目、さっき補聴器のお話が出ましたけれども、軽度・中等度難聴者の補聴器購入助成。

○委員長（陶山良尚委員） それ、もう終わりましたけども。

○委員（橋本 健委員） 終わった。

○委員長（陶山良尚委員） じゃあ、どうです。また、それは質疑されますか。

○委員（橋本 健委員） いやいや、107ページ。

○委員長（陶山良尚委員） 今、援護関係費のほうに入っているんですけども。

○委員（橋本 健委員） 失礼しました。すみません、ごめんなさい。

○委員長（陶山良尚委員） いいですか。

○委員（橋本 健委員） 戻っていいですか。

○委員長（陶山良尚委員） 認めます。

○委員（橋本 健委員） 高齢者。

○委員長（陶山良尚委員） もう一回、どの部分ですか。107ページですね。

○委員（橋本 健委員） 107ページの19節、扶助費のところの。

○委員長（陶山良尚委員） 障がい児通所支援給付費ですね。

○委員（橋本 健委員） これ、高齢者も対象になるということなんですが、手続ですね、でしょ。

○委員長（陶山良尚委員） 19節扶助費の軽度・中等度難聴児補聴器購入助成金ですね。

○委員（橋本 健委員） 難聴者のほうです。

○委員長（陶山良尚委員） 難聴者、こっちな。

○委員（橋本 健委員） 難聴者のほうです。138万9,000円。平成7年度、初めてこれ始められるんですかね。まず、確認したいと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 福祉課長。

○福祉課長（山崎 崇） 平成7年、失礼しました、令和7年度からの新規事業でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） それで、これはもう、高齢者ももちろん対象になるということなんですが、どういうふうな手続をしたら、こういう許可をいただけるのか、手続を教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 福祉課長。

○福祉課長（山崎 崇） まず、今回の対象が、障害者手帳の対象にならないような軽度中等度の難聴者の方の補聴器に対する助成制度になるところです。まずは、専門医から医師の診断書ですね、そういったものを用意していただきまして、あと、購入される予定の補聴器の見積書、そういったものを準備していただいて、市の福祉課のほうに申請いただくというようなことになります。

以上です。

- 委員長（陶山良尚委員） 小島委員。
- 委員（小島真由美委員） これ、所得制限はありますか。
- 委員長（陶山良尚委員） 福祉課長。
- 福祉課長（山崎 崇） 非課税世帯、生活保護世帯を対象というふうに考えているところです。  
以上です。
- 委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） そうしたら、戻ります。  
介護保険課長。
- 介護保険課長（柳谷雅子） すみません、少し戻りますが、先ほど小島委員から、窓口伝導軟骨イヤホンの件でご質問があったかと思えますけれども、本年度、介護保険の特別会計の301ページの庶務関係費、消耗品のほうで、1個予算を計上しておりますので、補足してご説明いたします。
- 委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） そうしましたら、5目援護関係費はよろしいですかね。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、6目重度障害者医療対策について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） 続きまして、7目ひとり親家庭等医療対策費について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） そうしたら、108ページ、109ページですね。8目後期高齢者医療費について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、9目国民年金費について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、10目人権政策費について質疑はありませんか。次のページまでですね。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） そうしましたら、110、111ページ、11目人権センター費について質疑はありませんか。  
木村委員。
- 委員（木村彰人委員） 111ページ、南隣保館管理運営費の中で、施設改修工事費が784万3,000円。昨年度に比べてすごく増えています。同じ関係で、南体育館管理運営費のほうも、

施設改修費として281万6,000円、昨年度から結構増えてますね。まず、この工事の内容と、あと、これ両方の建物の恐らく老朽化していると思われませんが、この状態についてご説明ください。

○委員長（陶山良尚委員） 人権政策課長。

○人権政策課長（河野貴之） この施設改修工事でございますが、このたびクーリングシェルター施設に指定されたことにより、空調設備費が大半を占めているところです。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 改修工事の内容は分かりました。

それで、老朽化が進んでいると思われませんが、そこら辺の状態をちょっとご説明いただければと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 人権政策課長。

○人権政策課長（河野貴之） 木村委員のご指摘のとおり、南隣保館が昭和49年、それから、南児童館が昭和55年ということで、隣保館、もう既に40年から50年たっておりまして、老朽化のほうも進んでおります。

先ほど、公共施設の再編でもございましたが、そういったその長寿命化、あるいは、まず、集約再編等に含めて、今から検討していくところでございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

ほかにはありませんか。

原田委員。

○委員（原田久美子委員） 南児童館管理運営費の工事請負費、これ先ほど言われたように、クーリングシェルターの分が82万5,000円だと思うんです。15ページの予算書説明のところには、82万5,000円と書いてあるんですけど、100万円別になっているんですけども、その100万円の内容をちょっと教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 人権政策課長。

○人権政策課長（河野貴之） 委員お尋ねの100万円につきましては、先ほど申し上げた空調機更新以外に、南児童館の階段室、向かって左側の丸くなっているところですが、その外壁の雨漏りがしておりますので、その補修ということで100万円を計上いたしております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、112、113ページです。3款民生費、2項児童福祉費、1目児童福祉総務費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、2目。

(木村彰人委員「すみません」と呼ぶ)

○委員長(陶山良尚委員) 木村委員。

○委員(木村彰人委員) 113ページ、子ども・子育て支援事業関係費、子どもの権利条例の制定の関係です。64万8,000円が計上されておりますけども、この条例制定に当たっての子ども・子育て会議委員の構成内容をお願いします。

○委員長(陶山良尚委員) 保育児童課長。

○保育児童課長(伊藤健一) 子ども・子育て会議でございますが、委員全体としては14名いらっしゃいます。そのうち、今ご質問の子どもの権利条例検討部会が、うち6名、さらに保養所部会として4名という内訳となっております。

以上でございます。

○委員長(陶山良尚委員) よろしいですかね。

木村委員。

○委員(木村彰人委員) 分かる範囲でいいんですけども、この委員になる、その有識者とか、そこら辺の代表的な有識者の、何て言うんすか、資格とかございましたら、ご説明いただければと思います。

○委員長(陶山良尚委員) 保育児童課長。

○保育児童課長(伊藤健一) メンバーとしましては、関係機関の職員、小中学校の校長会から代表者、あるいは自治協議会からお一人とか、社会教育委員の会、あとは、保育園協会、幼稚園協会の代表者、それから医師会です。それから、民生委員・児童委員の代表者、それから、学識経験者としては大学教授の方とか、あと保護者も、それぞれ、保育園、幼稚園、学童保育所あたりを入れていただいております。

以上でございます。

○委員長(陶山良尚委員) 木村委員。

○委員(木村彰人委員) 分かりました。最後です。

策定のスケジュールなんですけれども、いつぐらいから会議を始めたところで、最終的にこの令和7年度に条例を案という形で上程するまで持っていくような感じでお考えなんでしょうか。

○委員長(陶山良尚委員) 子育て支援課長。

○子育て支援課長(竹崎雄一郎) 先日、今年度、部会を立ち上げまして、子どもの権利条例検討部会というのを立ち上げまして、先日、第1回目を開催しました。今から、内容についてご検討いただく形になっておりまして、今の委員さんの任期中をめぐり、考えております。早めに終われば、早めに条例制定、上程したいというふうに考えております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） すみません、今の委員さんの任期というところだけ教えていただければ。

○委員長（陶山良尚委員） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（竹崎雄一郎） 9月1日が、子ども・子育て会議の委員の改選の。ですから、それから、任期は2年でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次に、2目児童措置費について質疑はありませんか。次のページまでです。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、114、115ページ、3目教育・保育施設費について質疑はありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） これごじょう保育所ですかね。細目002の市立保育所管理運営費が3億1,000万円になっています。職員給与費は、逆に下がってはいるんですけども、これは、細目001のほうは、職員が減ったのかどうか、一つ。それと、この002の一番下の保育業務委託料が1,000万円上がっています。ちょっとこの辺の金額が、管理運営費が上がった要因と、職員給与費が下がった要因を教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（伊藤健一） 保育業務委託料、115ページの一番下のところです。こちらは、南保育所の委託料でございます。公定価格に基づいてお支払いしておりますので、どうしても人件費等のアップ、公定価格上昇することに伴いまして、若干予算額も上がったというようなことでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） もう1件、職員給与費。

総務課長。

○総務課長（鳥飼 太） お答えします。

職員、正職員です、保育士さんの数というのは変わらない想定でございまして、退職者の方がいらっしゃったり、役職定年を迎えられたりとかいうことで、職員構成が変わったというところで、金額が下がっている部分もございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 117ページの教育保育施設費について、認可保育園について、今分かる数字を教えてくださいなんですけれども、まず定員数と申込数と入所児童数、待機児童数、最

後に入所保留数。

○委員長（陶山良尚委員） 審査資料で、それ何年度のですか。令和6年度。

○委員（木村彰人委員） 審査資料にはなかったと思います。令和6年度末で結構です。

○委員長（陶山良尚委員） まだ、決算というか、令和6年度の数値は出ないですね、まだ。

○保育児童課長（伊藤健一） 審査資料にもございましたが、保育所の定員数等につきましては、現在のところ、こども家庭庁が実施する国基準の調査です、こちらに基づき、基本的に4月1日現在の数値とさせていただいております。審査書資料にもございましたが、回答を控えさせていただくということにさせていただきました。

以上でございます。

（木村彰人委員「最後」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） じゃあ、詳細の数字は教えていただけないんですけども、一般的に言う待機児童数というのは、これゼロのままというふうに考えてよろしいのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（伊藤健一） 先ほど言いました保育所等利用待機児童数調査ですね。こちらに基づきまして調査した結果、待機児童数はゼロということでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 117ページ、003教育・保育施設費の中になると思うんですけど、待機児童ゼロへの取組の推進という事業が、当初予算説明資料にあったんですけども、その中で、「幼稚園や保育園から認定こども園の移行を行う施設に整備費を助成し」というふうにあるんですけど、この003教育・保育施設費の中の3,000万円、就学前教育・保育施設整備交付金に当たるといふことでよろしいでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（伊藤健一） 委員お見込みのとおりでございまして、こちらが就学前教育・保育施設整備交付金ということで3,000万円計上させていただいておりますが、こちらは、令和8年度から市内の幼稚園が認定こども園に移行するということに伴いまして、給食室を整備することで、その補助ということで3,000万円計上させていただいております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 認定こども園のことをちょっと伺いたいんですけども、保育士さんと幼稚園教諭と両方職員さんとして配置されるということになるのでしょうか。そこだけ教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（伊藤健一） すみません、これ、認定こども園につきましても、幼稚園型とか保

育所型とかいろいろございまして、そこで、たしか違ったと思うんですよ。すみません、ちょっと調べて、後ほどご回答させていただきます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 同じく117ページ、病児保育関係費で、昨年度は、令和6年度は病児保育広域利用負担金250万円が計上あったんですけども、筑紫地区他自治体の施設を利用する場合の負担金という説明で、すごく納得したんですけど、今回それが上がっていないんですけども、何か制度が変わったんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（伊藤健一） 令和6年度は、当初予算に計上させていただきました。令和6年度でお支払いするのは、令和5年度の実績でお支払いするんですよ。どうしても、令和7年度当初予算に予算を計上しますと、まだ全然見込みができませんので、これは補正で対応させていただきたいということにさせていただいております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、続きまして、4目学童保育所費について質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 同じく117ページ、学童保育所管理運営費、こちらのほうが、令和6年度に太宰府西小、太宰府東小に、1か所ずつ学童が増えた。令和7年度は、太宰府小にも学童保育を増設ということで、都合ですね、定数どのくらい増える形になるんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（伊藤健一） 現在、今現在です。令和6年度は定数としては900人です。それが、太宰府西と太宰府東を今建てていますが、それに伴いまして、955人になります。令和7年度につきましては、太宰府小学校のところ建てると今おっしゃったとおりでございますが、こちらにつきましては、若干の増、5程度を予定しているところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） 同じく4目の学童保育のところ、すみません、118ページ、119ページです。

12節のほうの学童保育の指定管理料が、指定管理変わったんですけども、約去年よりも2,200万円上がっているのは、指定管理料が上がった要因のほか何かありますか。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（伊藤健一） 先ほど申し上げましたが、今、太宰府西小学校、太宰府東小学校、これ増設しているんですよね。全体の数が18から20に変わります。これが一番大きな要因でございます。

（馬場礼子委員「ありがとうございます」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） すみません、細目005の保育施設運営支援費の中の届出保育施設なんですが、すみません、引き聞き漏らしました。届出保育施設が令和7年度閉鎖になるとか、また増えるとかというようなことでの届出は、あっていますでしょうか。それに伴って、そこに通っていらっしゃるお子さんへの相談とかということもなかったでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（伊藤健一） 届出保育所のうちの1施設が、本来、令和6年度中に閉鎖するとかという動きがありましたので、そこでいろいろ相談を受けました。お話の中では、令和6年度いっぱいはお続けになるということで聞いております。いろいろ市のほうの窓口に来られる保護者の方もいらっしゃいましたけど、できるだけ相談に乗って、次の施設をとということで、相談には乗らせていただいたつもりでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 1園閉鎖予定ということで、増えるということもないということですね、今のところ。情報、もう今のところ入っていないということですね。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（伊藤健一） 届出保育所に限っては、ここの補助をしておるところに限ってはそういう情報はいただいております。

以上でございます。

（小島真由美委員「ありがとうございます」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、4目についてはよろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページです。118、119ページ、5目子ども医療対策費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、6目家庭児童対策費について質疑はありませんか。

橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 121ページの子どもの居場所づくり事業委託料、1,800万円、内容を教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（竹崎雄一郎） 家庭や学校に居場所がない子どもの第3の居場所として安全安心な居場所づくりということで、今1施設、「ぎんともも」というところで事業を展開しております。

こちらのほうに通っている利用者につきましては、令和6年度が18名、うち9名が新規でございます。スタッフにつきましては、常勤3名、非常勤7名で運営をいたしております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） これ資料請求していただいてまして、7ページ、予算審査資料の7ページに、ぎんとももというのは、先生方というか、指導者、何人ぐらいいらっしゃるのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 指導者は何人いらっしゃるのですかね。職員。職員は載ってましたか。指導者ですか。

○委員（橋本 健委員） 指導者というか、お世話する人。

○委員長（陶山良尚委員） お世話する人。

子育て支援課長。

○子育て支援課長（竹崎雄一郎） 常勤職員が3名、常駐してお世話をいたしております。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 一つの小さな学校という感じのイメージですね。食事なんかも提供するわけですよね。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですか。回答は、いいですね。

馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） 橋本委員のぎんとももなんですけれども、その1つの学校というか、学習の支援と書いてあるんですけれども、これ何かカリキュラムがない。ただ来た人に単純に教えるという感じで、何もカリキュラムがないと聞いているんですけど、それはどうなのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（竹崎雄一郎） こちらの施設に来ていただいたお子さんの状況に応じて、指導をさせていただいている状況でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） あと、延べ利用人数って、これどういう人数でしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（竹崎雄一郎） お一人の方が、継続して通ってある児童さんもいらっしゃいますので、その延べ人数という形で表記させていただいております。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、13時まで休憩いたします。

休憩 午後0時15分

~~~~~ ○ ~~~~~

再開 午後1時00分

○委員長(陶山良尚委員) 再開します。

3款民生費、3項生活保護費、1目生活保護総務費について質疑はありませんか。

保育児童課長。

○保育児童課長(伊藤健一) 午前中に、神武委員のほうから認定こども園の職員の資格、免許についてご質問いただいた件につきまして、ご回答させていただきます。申し訳ございません。

幼稚園型認定こども園につきましては、満3歳以上の保育に従事といたしますか、される方につきましては、幼稚園免許、保育士資格の併有、両方を持っていることが望ましいが、いずれでも、いずれかでも可となっております。逆に、3歳未満の保育に従事する方は、保育士資格が必要ということとなっております。

以上でございます。

○委員長(陶山良尚委員) それでは、1目、質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、2目扶助費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、124、125ページ、4項災害救助費、1目災害救助費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、4款衛生費に入ります。1項保健衛生費、1目保健衛生総務費について質疑はありませんか。

小島委員。

○委員(小島真由美委員) アピアランスケア推進事業費が、40万円から70万円になってるのかな。

これやっぱり増えていらっしゃるんですかね、申請者が。ちょっと状況をお聞かせください。

○委員長(陶山良尚委員) 元気づくり課長。

○元気づくり課長(高野浩二) アピアランスケア用品の購入費の補助につきましては、令和5年度から始めさせていただいているところですが、申請件数が、両方とも、令和5年度、令和6年度とも24件申請がございまして、70万円程度の実績がございまして、予算が大体40万円程度でしたので、30万円ぐらい流用等で対応していたところですが、実績に基づいて70万円ということで計上させていただいております。

○委員長(陶山良尚委員) ほかにはありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長（陶山良尚委員） 次に、2目保健予防費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、128、129ページ、3目母子保健費について質疑はありませんか。

（小島真由美委員「すみません、委員長」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） 戻ります。

○委員（小島真由美委員） 申し訳ありません。129ページの細目004予防接種費で、带状疱疹予防接種費用助成金なんですけど、これ、国のほうからの定期接種化に伴って、本市も対応がしなければいけないんですけど、分かる範囲で、今のところ状況を教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（高野浩二） 带状疱疹の予防接種の定期接種化につきましては、最終日の3月21日の議会連絡会のほうで詳細はご説明させていただきたいと思っておりますが、今の概要についてですけれども、带状疱疹の予防接種につきましては、令和4年度以降、50歳以上を対象としまして、2種類のワクチン、生ワクチンか不活化ワクチン、どちらかのワクチン接種者に対しまして助成金のほうをお支払いさせていただいてきました。

今回、国が65歳の定期接種化の方針もありまして、筑紫地区では、65歳以上を定期接種の対象とすることとしております。自己負担金につきましては、生ワクチン4,900円、不活化が2万円です。2回接種しますので1万円掛ける2回ということをお金を今、予定をしているところでございます。

（小島真由美委員「分かりました。ありがとうございます」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、3目について質疑はありませんか。

神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 131ページ。002母子健康教育相談関係費の12委託料、一番下の産後ケア事業委託料が、去年に比べて1,600万円ぐらい増えていると思うんですけど、この内容をお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（竹崎雄一郎） もう一度。

○委員長（陶山良尚委員） もう一回ですね。

○副委員長（神武 綾委員） 産後ケア事業委託料が、昨年、令和6年度から1,600万円プラスになっていると思うんですけど、この内容についてをお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（竹崎雄一郎） 昨年度から、サービスの利用者が増大しております。

内容といたしましては、訪問型と通所型、宿泊型が増えたことにより、利用者が増大しております。その関係で予算が増加しております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 大体これは何人ぐらいを想定した金額になるのでしょうか。それと3種類利用されることになると思うんですけど、どれを利用される方が多いですか。

○委員長（陶山良尚委員） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（竹崎雄一郎） 予算では、予算上、算定しておりますのが、宿泊型が63回、通所型155回、訪問型200回程度で予算計上させていただいております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、132、133ページ、4目環境衛生費について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、5目公害対策費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、6目環境管理費について質疑はありませんか。

徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） 001地球温暖化対策ということで、自動車助成とか、エアコンの助成とか、書かれてありますけど、具体的な内容を教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 環境課長。

○環境課長（大石敬介） 対象としましては、令和6年4月1日以降に、購入された方を対象としておりまして、地球温暖化対策推進補助金の内訳といたしましては、太陽光発電、これが10万円でございます。それから蓄電池、これも10万円、それからエネファームも10万円、電気自動車、燃料電池自動車、こちら10万円、それからプラグインハイブリッド車が5万円の補助を予定しております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） すみません、エアコンのほうは。

○委員長（陶山良尚委員） 環境課長。

○環境課長（大石敬介） エアコンの購入補助につきましては、日本一の猛暑のまちの暑さ対策として、特に気候変動の影響を受けやすい高齢者世帯、65歳以上の世帯に対しまして、3万円を上限にエアコン購入にかかる費用の半額を補助するものでございます。

対象のエアコンは、新品で購入するものとして、温暖化対策として、省エネ効果があるものを補助金の対象としております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） 条件は、もう65歳以上ということですか。

○委員長（陶山良尚委員） 環境課長。

○環境課長（大石敬介） 65歳以上の世帯になります。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 関連してお聞きいたします。

令和6年度は足りなくて補正が入ったと記憶しています。これは、もうここまでで終わりですよというような事業に、令和7年度はするの、また足らなかつたら、補正かけるような形でするの、その辺の見通しを教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 環境課長。

○環境課長（大石敬介） 令和7年度につきましては、これまでZEH住宅に対しまして20万円の補助をしておりましたが、ZEH住宅は、必然的に太陽光発電と重複する部分もございますので、1人当たりの補助金がかかなり高額となっておりますので、令和7年度はこのZEH住宅を補助対象から外しまして、その分予算額、総額は減りますけども、より多くの方に交付できるようにということで考えております。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 補正を組まなくても、取りあえずこれでいけるかなという見通しで、今回の予算立てているということですね、分かりました。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 関連して、地球温暖化対策費、説明資料15ページの上から2段目、地球温暖化対策の各種補助というところで、かなり数年来、これ実績を積んできている補助制度なんですけど、説明資料のほうにも書いてあります。「日本一の猛暑のまちとしてのゼロカーボンシティ」ということで、ゼロカーボンシティの宣言をしていますので、これ毎年毎年補助しているんですが、何かしらの目標値があったところでやっているのかなと思われるんですけども、いかがでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 環境課長。

○環境課長（大石敬介） 令和5年3月に策定いたしました太宰府市地球温暖化対策実行計画におきまして、中間目標として、2030年度までに温室効果ガスの排出量を46%削減することを目標としております。

この達成度につきましては、令和3年度末になりますけど、2013年度比で29%の削減となっております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） その目標値を達成するためのこの補助事業が後押しになるというふう  
に理解します。

そこで、財源のほうなんですけれども、繰入金という形で、繰入金、これが主だと思われま  
すけれども、ちなみにエコだとかゼロカーボンシティというところで、補助とか有利な起債が  
ありそうな感じがするんですけれども、この財源については何か工夫がありますでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 環境課長。

○環境課長（大石敬介） 令和7年度、こちらの予算につきましては、財源としてふるさと納税基  
金を充てるようにしております。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） そうしたら、これ、ふるさと納税、単費充てるわけなんですけれども、公的  
な国、県とかいう補助、もしくは有利な起債はないということですね。

○委員長（陶山良尚委員） 環境課長。

○環境課長（大石敬介） 一応その辺りも調べながら、もしそういった有効なものがあれば活用さ  
せていただきたいというふうに思っております。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 漏れがありました。

このエアコン購入費の補助金なんですけれども、予算立てとしては300万円ということでは  
けれども、これは、対象者はどういった対象者なんでしょうか。高齢者に限ってのことになる  
のか、その辺の枠組みを教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） さっき、回答しましたけど。

（小島真由美委員「ごめん、聞いてなかった、ごめんなさい、すみ  
ません、聞いてなかった」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） じゃあ、もう一回。

環境課長。

○環境課長（大石敬介） 先ほど申しました65歳以上の世帯になりますけども、4月1日を一応基  
準としております。

（小島真由美委員「対象は、聞いた。言った」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） 65歳以上の家族ですよ。対象もう一回。

環境課長。

○環境課長（大石敬介） 所得の制限等は特に設けておりませんで、市税に滞納がないかという  
ところだけは、チェックさせていただいておるようにしております。

（小島真由美委員「分かりました」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、134、135ページですね。4款衛生費、2項清掃費、1目清掃総務費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 2目塵芥処理費について質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 135ページ、ごみ処理費についてなんですけれども、令和6年度、前年度に比べて約3,200万円増額しております。この内容についてご説明ください。

○委員長（陶山良尚委員） 環境課長。

○環境課長（大石敬介） ごみ処理費、トータルで3,200万円ほど増額しております、主なものといたしましては、福岡都市圏南部環境事業組合の負担金が1,200万円ほど増えております。それから、大野城太宰府環境施設組合の負担金、こちらが430万円ほど増えております。それから塵芥収集運搬委託料、こちらについても700万円ほど増えております。

この理由でございますが、南部環境事業組合の負担金が増えました主な要因といたしましては、中間処理に係る人件費の増と、それから最終処分場の修繕料の増によるものでございます。

それから、大野城太宰府環境施設組合の負担金につきましても、管理業務の更新に伴う人件費の増ということで伺っております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 了解しました。

続いて、137ページです。これが、美化センターの管理運営費、昨年に引き続き5,000万円台の施設改修工事となっております。先週でしたか、火事がありましたね。そこら辺で大した問題、被害なかったというふう聞いてますけれども、この改修費に関して、もしかしたら、何かしらの増額があるのかなと、ちょっと心配しておりますけれども、それについてお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 環境課長。

○環境課長（大石敬介） 先日の火事につきましては、この当初予算のほうには含んでおりません。

また、今度の議会連絡会のほうでまたご報告させていただきたいというふうに考えております。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） もう一つ、5,000万円台をずっと毎年、去年に引き続き今年も5,000万円台の施設改修費なんですけど、この内容をご説明ください。

○委員長（陶山良尚委員） 環境課長。

○環境課長（大石敬介） 施設改修工事といたしまして、全部で6工事を予定しております。

まず、不燃物選別装置の改修、それから貯留バンカーの更新、それから水処理場計器類の更新、それから空気圧縮機の更新、それから手選別空調の更新、それから水処理場の薬注ポンプの取替えを予定しております。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 了解しました。

137ページのその下です。ごみ減量推進費について、これについてお伺いします。

令和6年度にごみ排出量600グラムパーで人です。1人当たり600グラムを達成するという形で、少しずつ目標に向かって進んでいると理解しました。すごいと思います。ちなみに、令和6年度の結果というのは、まだ見込みでもいいんですけども、どんな状況でしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 環境課長。

○環境課長（大石敬介） 令和6年度につきましては、まだ集計等は行っておりません。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 恐らく達成できる、もしくはぎりぎり難しいかもしれませんが、目標に向かっていくというふうに理解しますが、ちなみに、それが終わった後、令和7年度以降の目標というのが、絶対立てなきゃいけないと思うんですけども、もうこの時期に。どういうふうに考えてらっしゃいますでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 環境課長。

○環境課長（大石敬介） 今、数字目標としては、こちらの1人1日当たり600グラムというのが目標として掲げておりまして、その後の数値目標については、これからちょっと検討させていただきたいというふうに考えておるところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次に、3目し尿処理費について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、138、139ページ、3項上水道費について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、5款労働費に入ります。1款労働諸費、1目労働諸費について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次に、6款農林水産業費に入ります。1項農業費、1目農業委員会費について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） では、次のページ、140、141ページ、2目農業総務費について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、3目農業振興費について質疑はありますか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 141ページに、鳥獣被害対策について、有害鳥獣の被害状況なんですけど、その傾向を知りたいんですけど、令和5年度はイノシシ198頭、アライグマ44頭、鹿62頭という。

○委員長（陶山良尚委員） マイク入っていない。

○委員（木村彰人委員） すみません、もう一回ね。有害鳥獣の駆除状況なんですけど、令和5年度はイノシシは198頭、アライグマ44頭、鹿62頭ということで、この傾向を知りたいと思ひまして、令和6年度の分かる範囲での数字を教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） 令和6年度の2月末現在になりますが、イノシシ376頭、鹿81頭、アライグマ24頭でございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） かなり増えてますね。そうしたら、これに応じた形での令和7年度予算編成というふうに考えてよろしいでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） 増えた要因というのは、分析はちょっとしております。実は、昨年からすぐやる班の中に、有害鳥獣対策専門員、こちらを2名任用いたしまして、毎日のように箱わな等の点検を行っております。その関係で、効果的に捕獲ができているということも要因としてはございます。

予算につきましても、今委員おっしゃいますように、その辺りのことも含めた対策ということで、補助金のほうになりますけど、鳥獣被害防止対策事業補助金、こちらのほうも150万円ほど、今回計上させていただいてるところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次に、4目都市近郊農業推進費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、142、143ページ、5目農地費について質疑はありませんか。堺委員。

○委員（堺剛委員） すみません、農地費、臨時工事費の事業概要をお示しください。

○委員長（陶山良尚委員） 建設課長。

○建設課長（齋藤実貴男） 農業用施設整備費の工事請負臨時工事になりますけども、大部分というか、まず大字の原口No.1池の堤体の改修工事及び、これは、水城台公民館の横になりますけども、先ヶ浦池の堤防関係の改修工事が主になります。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次に、2項林業費、1目林業振興費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、144、145ページ、2目林業管理費について質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 145ページ、こちらのほうが145ページ、荒廃森林整備事業費のところ、会計年度任用職員が241万2,000円計上されているんですけど、新規計上、これが前年度は、その下の森林環境譲与税事業費のところに計上されていたと。こっちほうに移った理由って何か特にあるんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） こちらのほうで、昨年、先ほど委員ご指摘のように、森林環境譲与税のほうで予算を組んでいました。ただ、森林環境譲与税となりますと、その森林環境譲与税で行われる事業というのが限定されてくるということもございます。

それで、荒廃森林、様々な今後、対策を考えていかなきゃいけないようなものもございますし、治山事業ということもございます。そういったところで、幅広く活動できるように、そういったところで、予算の組替えという形で、今回、荒廃森林整備事業のほうに計上させていただいてるのものでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、3目緑地推進費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、7款商工費に入ります。1項商工費、1目商工総務費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、146、147ページ、2目商工振興費について質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 147ページ、「梅」プロジェクトの推進、予算説明資料が28ページの上から3段目、「梅」プロジェクトの推進委託料とあるんですけども、委託、何かをやらせてもらうという委託になるんですが、これを「梅」プロジェクト上、どういう方に何を委託するの

かということをお聞きします。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） こちらの委託料でございますが、まず一つが、令和6年3月に策定いたしました「梅」プロジェクト中期事業計画、こちらを実行するための伴走支援事業としまして、計上しているもの。

具体的には、今後の「梅」プロジェクトの幅広いプロモーションであったりとか、あと、今後その「梅」プロジェクトの自走化に向けた持続可能なプロジェクトになるよう、専門、そういったノウハウを持つ事業者のほうのご支援をいただきながら、市内の事業者、また、市民の方、こういった方たちを巻き込みながら、意見交換であったりとか、イベントの開催であったりとか、そういったことを行っていく、そういった委託料が一つ。それから、梅の実の収穫に関する委託料、これが含まれております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 関連して、その下なんですけれども、こちらの同じ147ページの企業誘致支援業務委託料、こちらのほうが、民間コンサルタントのノウハウをとということだったと思うんですけれども、こちらのほうの内容、委託内容をお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） 令和7年度の委託内容につきましては、今先ほど、委員お話がありましたように、コンサルティング会社の伴走支援を受けながら、これまで商談を行ってきた企業もでございます。そういった企業と継続して、商談を行えるような伴走支援であったりとか、あとは、そういった企業が進出するための要件、それと場所、そういったところを具体的に、今後、形とするような調査、そういったものを想定しております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですね。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） すみません、LPガスの物価高騰の補助金なんですけど、8,000万円、これ、前回申請した方式で、全く同じ形での補助金の給付の仕方になるのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） 前回、令和5年度だったかと思います。申請方式、LPガスの供給を受けている方が、それぞれ自己申請による申請方式で行っていましたが、その後、福岡県あたりが、LPガス協会のほうに委託をして、実施をしているという実績がございます。

今回につきましては、LPガス協会のほうにまず委託をしまして、委託というか、LPガス協会の事業といたしまして、そちらに補助金を出しまして、各世帯から今回3,000円天引きをしていただくというようなところで、各LPガスの販売事業者、こちらのほうに事務補助等を行いながら、実施をする予定にしております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 確認です。ということは、もう申請はしなくて、自動的に天引きされるということによろしいですね。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） 委員おっしゃるとおりでございます。令和7年6月分の検針から差し引くというところで、今のところ検討しております。

なお、この事業につきましては、筑紫地区5市のほうで、連携しながらやっていこうというふうに考えているものでございまして、仮に6月検針分で差引きができなかった分につきましては、7月、8月、この3か月間で差引きを行うというところで予定をしているものでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 船越委員。

○委員（船越隆之委員） 今のLPガスの件ですけれども、これ通知、何か差引き天引きされますよというような通知か何かは、前持って来るんですかね、この業者のほうから。プロパンガス協会からか。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） 前持った周知ということになるかと思いますが、当然、LPガス協会を通じまして、周知のほうは行うという予定にはしております。

（船越隆之委員「ありがとうございます」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） 船越委員、いいですか。

○委員（船越隆之委員） はい。

○委員長（陶山良尚委員） 長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 負担金、補助及び交付金ところのプレミアム付商品券なんですが、これも去年と同様変わらずということによろしいですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） こちらのプレミアム付商品券事業でございますが、昨年と同じ内容にはなります。今、そちらのほうで想定をしています。こちらのほうが、キャッシュレスのだざいふペイ、それから紙の商品券、こちらの発行というところで、その販売方法等につきましては、今後、商工会のほうと詰めてはまいります、プレミアム率につきましては、市のほうが10%、県のほう10%、合計20%というところで予定をしてるものでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次に、3目消費者行政費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、次、148、149ページ、4日観光費について質疑はありませんか。

橋本委員。

○委員(橋本 健委員) 001の観光宣伝費で、18節、一番下、令和の万葉大茶会参加負担金300万円、万博で梅花の宴を披露するというふうなことでしょうけれど、ちょっと詳しく教えてください。

○委員長(陶山良尚委員) 観光推進課長。

○観光推進課長(西川英毅) 橋本委員ご指摘のとおりでございます、4月に開幕します大阪・関西万博の中で、6月6日に、令和の万葉大茶会、明日香万博大会ということで開催されることが予定されていまして、その中で、梅花の宴の再現を行うという計画でございます。

以上でございます。

○委員長(陶山良尚委員) 橋本委員。

○委員(橋本 健委員) 自治体参加というのは、太宰府だけですか、ほかにもあります、どっか。

○委員長(陶山良尚委員) 観光推進課長。

○観光推進課長(西川英毅) これは、今までの万葉大茶会開催自治体で共同で行われるということで、今、計画されておまして、具体的に申しますと、本市以外に、本市の前で開催されました鳥取市さんですとか、友好都市の多賀城市さんですとか、富山県高岡市、東京都狛江市、で、今回、開催自治体ということで、奈良県明日香村ということで予定されております。

以上でございます。

○委員長(陶山良尚委員) 馬場委員。

○委員(馬場礼子委員) 観光施設整備費のうちのオーバーツーリズム対策事業のところなんですけども、参道周辺店舗に対するごみ袋の配布とか、参道周辺の清掃強化、それは分かるんですけども、一応あれですよ、食べ歩きを容認をされている中で、境内にはごみ箱は一つあるんですけども、参道には一つもなく、そのごみ箱の設置は、市民の方からも声が上がっているんですけども、そこが難しい原因というか、要因は何でしょうか。

○委員長(陶山良尚委員) 観光推進課長。

○観光推進課長(西川英毅) 馬場委員ご指摘のとおり、ごみ箱に関して、ご意見は市民の方からも頂戴しておるところでございます。

これについては、本年度はオーバーツーリズム対策会議ということで、観光庁の補助をいただいて開催した会議でございますが、その中でも議論をいたしました。

その結果、今回は、本年度の取組としては、まずはマナー啓発というところからやっというということで、皆さん意見が一致して、実施を進めたところでございます。

ご指摘のなぜごみ箱を置かないかというところに関しても、これは積年の課題だと思っておりますが、やはり設置に関する回収に関するランニングコストというのが、数千万円かかると

ということが試算で出てまいりましたので、その財源の措置の課題というのが、まずございますので、まずは市民の皆さんも巻き込んでできることということで、マナー啓発、観光客に対するマナー啓発から取り組んでいこうということで進めております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） すみません、予算説明資料の15ページにある猛暑対策で、ミストシャワーについて書かれてあるんですけど、その予算とか具体的な内容というかな、どの程度が計画されているのか教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（西川英毅） 徳永委員ご指摘のミストシャワーでございますが、これは、可動式の扇風機みたいなものを計画しておりまして、主には、やはり参道中心に設置ができるようにということと考えておりまして、扇風機のようなイメージを持っていただければと思いますが、10個計画しております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） その10個の扇風機が、大体予算は幾らぐらい考えてある。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（西川英毅） 約340万円でございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 今の質疑、回答に関して、ミストシャワーについてお伺いします。これ、可動式の扇風機的なものということですが、これは参道の公道部分という形でしょうか。公道部分に設置する。あくまで官のものだというふうに考えてよろしいのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（西川英毅） 木村委員ご指摘のとおり、基本的には、市道といいますか、市の敷地に設置することを想定しております。

以上でございます。

（原田久美子委員「関連して」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） 原田委員。

○委員（原田久美子委員） 15ページですね、資料は。ここに、文化財施設管理運営費ということで、922万9,000円、さっきのことだろうと思うんですけども、文化財施設というのは、ここに天満宮と、新聞も太宰府天満宮参道のミストシャワーと書いてありますし、この15ページにも、きちんと天満宮参道でのミストシャワー設備の設置ということで、きちんと書いてありま

すので、この予算書にも、よければ、天満宮参道の文化財施設管理運営費ということでしていただけると、分かりやすかったと思います。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） これ、ミストシャワーの予算ですかね。

観光推進課長。

○観光推進課長（西川英毅） すみません、原田委員ご指摘のとおり、ちょっと分かりにくい部分はあったかなと認識しておりまして、ミストシャワーがどこに、この予算書に反映されているかというのを申しますと、151ページの004の17備品購入費の中に含まれております。

参道でということで、ちょっと太宰府館のほうに計上させていただいております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 関連して、ちょっと分かりにくかったので、太宰府館からの管理運営費自体が、かなり膨らんでいます。なので、今のことも含めてなんですけれども、新しい内容とか、何か、また、膨らんだところがどこなのかというのも、ちょっと教えていただけて含めてなんですけれども新しい内容とか何かまたこの膨らんだところがどこなのかというのもちょうと教えていただきたいと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（西川英毅） 小島委員のご指摘は、太宰府館の管理。

○委員長（陶山良尚委員） 管理運営費があるでしょ。

○観光推進課長（西川英毅） 運営費の。

○委員長（陶山良尚委員） いいです。大丈夫、大丈夫。

○観光推進課長（西川英毅） 管理運営費の内訳ということでよろしいですか。

（小島真由美委員「はい」と呼ぶ）

○観光推進課長（西川英毅） 004の12番ですかね、委託料。今回、太宰府館がかなり築20年、昨年申しましたが、築20年を迎えまして、かなり老朽化でいろんな故障も発生している状況でございます。

それを受けまして、いろいろ手直しというのでも同時に行いつつではありますが、基本的にこの委託料の中に含まれておりますのは、基本的に維持管理にかかる費用でございます、例えば清掃ですとか、空調の保守ですとか、あと3階のまほろばホールの舞台の操作及び保守、あとはエレベーター等です、機械警備等々が含まれております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 6,200万円でしたよね、前회가。今回、1億2,000万円ぐらいになっているのかな。なので、ちょっと金額の太さが気になったのでお聞きしたんです。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（西川英毅） 失礼いたしました。全体の太宰府館の管理運営費の増ということで、約6,000万円の増ということで、その内訳ということでよろしいでしょうか。

（小島真由美委員「はい」と呼ぶ）

○観光推進課長（西川英毅） そうですね。今回、やはり先ほど私冒頭申し上げました老朽化に伴う施設改修事業ということで、かなり大きな額を計上させていただいております、やはり空調の故障というところが頻発してきているというところ、その修繕、改修が急務ということで、一番大きいのは主に空調機の中央監視装置の更新というのが約3,500万円ぐらいですかね、これが一番大きい新規の増ということでありまして、続いて、音響関係の機器の更新ですとか、監視カメラ、エレベーター、舞台機設備操作機の見直しですとか、3階のまほろばホールに関する改修事業というところが一番大きなもので、主にそれで約5,000万円の増というところになっております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

門田委員。

○委員（門田直樹委員） 質問いいですか。

○委員長（陶山良尚委員） どうぞ。

○委員（門田直樹委員） ちょっと質問立て込んどうとごめんなさい。また、そのミストシャワーについてちょっと確認したいのが、設置した後の管理は誰がするのか聞かせてください。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（西川英毅） やはり、私どもで今回ご承認いただけましたら、購入させていただこうと思っておりますので、やはり、観光推進課の職員といたしますか、あとは太宰府館の職員も含めて適切に維持管理してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 門田委員。

○委員（門田直樹委員） よろしく。というか、昔は駅とか、それとかゴルフ場とかにもあったけど、ちょっと問題だったのが、あの噴霧の中に、要は水ね、ずっと流れる水だといいいけど、たまり水を流したりすると、何か、例えばレジオネラ菌とか、肺炎になったりする、ちょっと重篤な状態にもなるんですよ。そんなのが心配で、あれはやばいと言うて、結構避ける人も、わざわざあれを避ける人もいるぐらいのところがあって、その辺の管理はよろしくお願ひします。

以上。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（西川英毅） 門田委員ご貴重なご指摘、アドバイスありがとうございます。

ミストシャワーに関しては、いろいろ私どもリサーチしまして、先進自治体として、伊勢神宮さんがある伊勢市さんが、実は導入されている事例を伺いましたので、しっかりヒアリング

しまして、維持管理してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 船越委員。

○委員（船越隆之委員） すみません、太宰府館の維持管理、運営の部分ですけども、空調工事の要するに、空調に関する修繕とかいうのが、今6,000万円ぐらいですかね。それで、これ前回、空調に関しての修理をしなきゃいけないということで、たしか補正予算が何千万円か出てなかったですかね。それ記憶が何かあるんですよね。なのに、また、ここで何か空調工事の、私の勘違いですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

（船越隆之委員「あるよね」と呼ぶ）

○観光推進課長（西川英毅） 昨年、船越委員からもこの件ご質問いただいたと記憶しております。恐らく施設改修と修繕の違いというところでのご質問だったかと認識しております。

修繕と改修を一緒に含めてはどうかというご指摘をいただいております。修繕に関しては、やはり突発的な事象に対する一時対応といえますでしょうか、補修という措置でして、改修工事は、しっかり計画的にじっくり計画して行われるものということで、今回のご指摘の件は、先ほど申しました空調機の中央監視装置、かなり大きな金額であります。併せて空調機そのものの改修に伴う設計料ということで計上しております。それが、004太宰府館管理運営費の中の12の委託料の中の施設改修工事設計監理等委託料ということで、これが空調機の更新にかかる設計料でございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 船越委員。

○委員（船越隆之委員） これは、あくまで660万円というのは設計料ですか。それとまだすみません。

○委員長（陶山良尚委員） いいですよ。

○委員（船越隆之委員） いいですか。続けていいですか。

○委員長（陶山良尚委員） どうぞ。

○委員（船越隆之委員） それで、今の空調機を今回はしたら、丸っと取り替えるということですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（西川英毅） 中央監視装置更新は、もう空調の全体にかかるものでありますので、これは、まずやらないと、今の空調が止まってしまったとき大変だということで、まずそれを先にやると。

これ、なお、本年度とこの令和7年度の債務負担行為で計上させていただいているものでございます。令和6年度の予算書の中に記載をさせていただいている金額でございます。

設計をしっかりと令和7年度に行って、そのまとも次第、空調の発注に向けた準備を進めて

まいるという、そういう段取りで進めてまいります。

以上でございます。

(船越隆之委員「もう一度すみません」と呼ぶ)

○委員長(陶山良尚委員) 船越委員。

○委員(船越隆之委員) 最後ですけども、今の太宰府館の空調工事に関しては、撤去をするに当たっては、かなり難しいと思うんです。その撤去する場所がないみたいな感じになつとるわけですね。だから、それが、それを含めてやけど、今も言われたような金額で収まるのかなと思ってるんですけど。

○委員長(陶山良尚委員) 観光推進課長。

○観光推進課長(西川英毅) ご指摘のとおり、ご心配をおかけする工事になろうかと思いますが、これも今回のご提案しております設計の中で、しっかり精査してまいりたいと考えております。以上でございます。

○委員長(陶山良尚委員) 馬場委員。

○委員(馬場礼子委員) すみません、太宰府館管理運営費のうちの342万1,000円、説明資料の15ページ、新規事業でもあります、日本一の猛暑のまちを生かした観光施策展開、これちょっと私個人的にすごく興味があるんですけども、新スイーツや涼をテーマにしたイベントの開催、これは、猛暑だから、7月、8月の日程でしょうけど、具体的に、日程とかそういった概要を教えてくださいんですけど、お願いします。

○委員長(陶山良尚委員) 観光推進課長。

○観光推進課長(西川英毅) 馬場委員ご指摘の猛暑イベントについては、やはり昨年、本市は日本一の猛暑のまちということで、全国に大々的にPRすることになりましたが、それに伴って、本市に来られることを懸念されることがないように、その楽しさをPRするとか、いろんな、例えば、涼しさを少しでもということであれば、例えば打ち水をやってみるとか、そんないろいろなイベントが想定されると思います。

これについては、我々職員だけではなくて、太宰府ブランド創造協議会の部会の中でもディスカッションしながら、もうやはり時期は夏場になろうかと思っておりますので、楽しいイベントを企画してまいりたいと考えております。

以上でございます。

(馬場礼子委員「ありがとうございます」と呼ぶ)

○委員長(陶山良尚委員) 神武副委員長。

○副委員長(神武 綾委員) 149ページ、002観光事業推進費の一番下から2番目のレンタサイクル事業負担金24万1,000円になっていますけど、令和6年、今年度はレンタサイクル事業補助金になっていまして、77万円だったと思うんですけど、この変更についてお願いします。

○委員長(陶山良尚委員) 観光推進課長。

○観光推進課長(西川英毅) 神武副委員長ご指摘のとおり、本年度この事業スキームが変更にな

っております。もともと西鉄における直営事業でやっておりましたが、それが西鉄に対する補助事業ということで、レンタサイクルやっておりましたが、西鉄としては、非常に厳しいと。あとは人手の問題もあり、対応するのが厳しいということもありまして、スキームを変更し、別の県の事業でも実績がえられる民間事業者様に事業をやっていただくことになりまして、これがその事業者さんにやっていただいて、本市としては、レンタサイクルのいわゆる駐車場スペースというか、駐輪場スペース相当の土地代を負担するというスキームで、今回から対応することと変更になっておりますので、金額も含めて変更になったものでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 金額が下がっているんですけど、内容としては場所も変わる。台数等も変わるというような感じでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（西川英毅） 場所は変わりません。やはり事業者様が変わりますので、自転車の何ていうか、仕様というか、いうものは変わっておりますし、台数は、15台で現在運営しておりますので、変更になっておるかと思えます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） すみません、聞きそびれたかもしれません。申し訳ないです。001観光宣伝費の中の委託料の中で、観光プロモーションがなくなっていて、回遊型観光ルート活用促進事業委託料と、大体いつもセットかなと私は思っていたんですけども、今回700万円ぐらいあった観光プロモーションがなくなっているのはなぜなのかなと思って、ちょっと、すみません教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（西川英毅） 小島委員ご指摘のとおり、観光プロモーション委託料が730万円の減になっております。これは、本年度の実施分が減になったものでございまして、本年度、当初予算で計上させていただいておりました電光掲示板及び西鉄電車の初詣の初詣号のヘッドマーク、この2点の分が含まれておりません。

なお、電光掲示板については、当初予算計上させていただいたものの、オーバーツーリズム対策事業の中でデジタルサイネージを観光案内所と太宰府館と2か所設置しておりますので、そちらの活用をうまくやっていくですとか、観光案内所横の西鉄においてやっておりますデジタルサイネージの活用等も含めて、今年度やってまいりたいと考えております。

以上でございます。

（小島真由美委員「分かりました。ありがとうございました」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） ほかに。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） これが149ページの観光宣伝費なんですけれども、令和6年度の補正予算（第3号）で計上したオーバーツーリズム対策の中で、福岡空港に特設コーナーを設ける、そこにコンシェルジュを置くという件、これ委託費だったと思うんですけども、令和7年度も継続して予算が上がってくると思っております。もしかしたら、先ほどの観光プロモーションの費用の中に入ってるかもしれませんけれども、これについては、どのような感じになっているんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（西川英毅） 木村委員ご指摘のオーバーツーリズム対策事業の補正予算、6月補正でご承認いただいた事業内容でございますが、福岡空港国際線における太宰府コンシェルジュという取組でございました。これ、12月から2月の下旬まで実証実験として行われたものでありますが、まだその検証ができておりませんので、今回の当初予算には計上するには至っておりません。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） もう一つ、先ほどの太宰府館のクーリングシェルターとしてのエアコンというのがありましたけど、事業としては非常に市長の肝煎りの日本一の猛暑のまち対応パッケージの中での日本一の猛暑のまちへの対応というところではありますが、観光推進課さんだけじゃない大きなプロジェクトになっていまして、クーリングシェルターの増加、増設をしますとか、先ほどのミストシャワーもその一環なんですけれども、このクーリングシェルターの事業としてのご説明をちょっといただきたいんですけども、去年に増して、多分力を入れるということだと思いますが、これはもしかしたら管財課かもしれません、どこが一番いいんでしょうね。

○委員長（陶山良尚委員） 総務理事。

○総務部理事（危機管理・新しい公共担当）（杉山知大） 危機管理の関係からいきますと、クーリングシェルターは今、防災安全課のほうで、管理しているという状況でございまして、昨年お知らせしましたとおり市内の公共施設を中心に、まずは初年度は取り組んできたというところでございますが、今後の次年度以降の展開でございますが、いわゆる民間のほうの施設、店舗とか、それから様々な準公共的などといいますか、郵便局であるとか、そういったところの可能性、そういうところも踏まえながら、今展開をどのようにすればいいかというところを色々検討してるところでございますので、それぞれの公共施設を指定した昨年と、また少し次のステップというか、次のことをまた考えながらやっているということでございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） クーリングシェルターのことなんですけども、後で聞こうかと思ってい

たんですけども、先ほど南隣保館等にもクーリングシェルターということで、空調の整備もというような話があったので、そのときにも思ったんですけども、今のお話ですと、この辺にはクーリングシェルターがあったほうが良いというようなことも考えながら、ここだったらここに頼もうであるとか、ここに取り付けていこうとか、そういうような形で今年度から考えていくというふうに、今のお話を理解してよろしいですか。

○委員長（陶山良尚委員） 総務理事。

○総務部理事（危機管理・新しい公共担当）（杉山知大） クーリングシェルターに適した施設と、いわゆる福岡市のような大型商業施設があるような施設がある地域と、それから、その周辺の地域とでは、大分環境が違うわけでありまして、当然、広い平野部にぽつんと建てるような施設があって、そこにいわゆる駆け込んでもらえるような施設があるかということ、そうでもない場合もありますので、これは今の現状が公共施設がどのようになっているかとか、各そういった商業施設がどのような形で点在しているかということに合わせて、やっていくしかないなというところはあります。

なので、どうしてもその空白の部分というのが、施設の状況次第では出てくる可能性もありますので、そういった市内の点在の状況も見ながら、本来の理想に少しでも近づくようにというところは考えてるところでございます。

それと、先ほど午前中に、クーリングシェルターが故の空調ということで説明があったかと思いますが、人権のほうの担当で持っております3施設全てがクーリングシェルターという形で位置づけてるわけではないので、あちらは通常の老朽化した空調の更新というところを兼ねておりますので、もともと空調施設がないところをクーリングシェルターとして指定しているわけではないので、そこはそれぞれの施設のまた判断というところもあります。

以上です。はい。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 細目003の観光施設整備費の中で、モニュメントがなくなって減るかなと思ったら、結構ちょっと金額が上がってきているんですが、それはいいとして、前回、外国人観光客対策業務委託料というのが上がっていたのが、観光客受入環境整備業務委託料に変わっているのか、それともこれが名前だけ変わったのか、内容が拡充したのか、ちょっとその辺を教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（西川英毅） 小島委員ご指摘のとおり、151ページの003の12番委託料の観光客受入環境整備業務委託料の件だと思いますが、確かに、これは、本年度まで外国人観光客対策ということになっておりましたが、この中身に鑑みると、外国人観光客だけではないなというところもあり、名称がこのように変更になっております。中身については、事業内容は同じく、やはりご心配おかけしております参道の小鳥居小路交わる部分ですとか、太宰府駅前の交差点等を含めた警備員を置いたりとかいうことを想定しておるものでございます。

以上でございます。

(小島真由美委員「ありがとうございます」と呼ぶ)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、4目についてはよろしいですかね。

ちょっと待ってください。先。

○観光推進課長(西川英毅) 委員長すみません、先ほど船越委員のご質問の中で、もう一点やはり、私失念しておりました。昨年ご指摘いただいていた中身で、施設改修工事の違いということではありますが、令和6年当初予算で、空調工事、確かにやっておりました。570万円というのが、当初予算で計上されておまして、今年は、特に大きいのが、大本をやり替えるということでの空調機の中央監視工事ということで、約3,500万円ということでした。

以上でございます。

○委員長(陶山良尚委員) じゃあ、最後、船越委員。

○委員(船越隆之委員) その空調に関しましては、今までは、要するに、地下かな、チラシのやつがたしか入っていたと思うんです。今回は、露出型というか、普通にぶら下げるような、空調機で後のメンテがしやすいような空調関係の工事になるということですか。

○委員長(陶山良尚委員) 観光推進課長。

○観光推進課長(西川英毅) 船越委員ご指摘のとおり、現状は、やはり20年前の設備ということで、氷蓄熱方式で、かなりもう今では珍しい方式であります。でございますので、やはり更新時には最新式というか、コストも精査しながらにはなりますが、省エネ型というか、いふことで検討してまいりたいと考えております。

以上でございますね。

○委員長(陶山良尚委員) よろしいですかね。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、次に進みます。

152ページ、153ページ、8款土木費に入ります。1項土木管理費、1目土木総務費について質疑はありませんか。

木村委員。

○委員(木村彰人委員) 153ページの道路冠水監視システム委託料についてお伺いします。市内のアンダーパス、全体何か所のうち、アラーム設置が今何か所で、今年何か所施行するのかを教えてください。

○委員長(陶山良尚委員) 建設課長。

○建設課長(齋藤実貴男) 国道3号線の地下アンダーパスなんですけども、市内に現在7か所ございます。7か所全て道路の監視システムの分をいわゆる冠水センサーですね、これにつきましては、今年度中に、もう全て設置終わっております。

ですので、こちらのほうの今、予算計上している分につきましては、その冠水センサーのいわゆる運営費ということで挙げさせてもらっています。

なお、この冠水センサーにつきましては、高雄交差点の高雄中央通り、そこ、大雨が降るとちょっと冠水しますので、そこにも設置をさせていただいております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 了解しました。これ、運営費として上げていっしょということですけども、ちょっと基本的な話、このシステムの仕組みなんですけど、冠水した場合に、当然冠水してますよという形で、歩行者の方や自動車の方に、入っていったら危ないということで、何かしらサインがあると思いますけど、これ、センターのほうにも、どれくらいの冠水があったというデータのものがいく、そして、その後、職員の方に通知があるようなシステムになっているんですか。

○委員長（陶山良尚委員） 建設課長。

○建設課長（齋藤実貴男） まず、センサーにつきましては、こちらから、いわゆる一定の深さになると、通知というか、電子で、もちろんちょっとこちらのほうから呼び込みというか、見に行かなくてはいけないですけども、そういうふうに通知があって、一目でどこが冠水しているかということで、分かるようになっております。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） その次は、154ページ、155ページ、2項道路橋梁費、1目道路橋梁維持費について質疑はありませんか。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 001の14節道路改良工事です。これと、それから002の同じく12節の。

○委員長（陶山良尚委員） まだ、そこ。新設改良費のほうですか、それ。

○委員（橋本 健委員） はい。

○委員長（陶山良尚委員） 今、1目のほうです。

○委員（橋本 健委員） 1目だけ。

○委員長（陶山良尚委員） 1目だけです。いいですか。そうしたら。

○委員（橋本 健委員） はい。

○委員長（陶山良尚委員） そうしたら、2目入ります。道路橋梁新設改良費について質疑はありませんか。

橋本委員。

○委員（橋本 健委員） いいですね。

○委員長（陶山良尚委員） どうぞ。

○委員（橋本 健委員） 001の14節の道路改良工事と、それから5,000万円です。それから、002の14節、同じく道路改良工事の8,200万円、これをちょっと説明していただきたいと思えます。

○委員長（陶山良尚委員） 建設課長。

○建設課長（齋藤実貴男） まず、001道路橋梁新設改良事業費の14節工事請負費の道路改良工事につきましましては、フケ・水城駅線です。これは、吉松から大佐野に向けての道路改良工事、それと、水城小学校裏になりますけども、石橋・西谷口線のいわゆる変速交差点の改良工事、あと佐野の佐野大橋の橋梁改修工事が主なものになっております。

次に、舗装等工事につきましましては、一応これ舗装計画、市のほうでつくっておるんですけども、それに基づきまして、特に、市道での主要道路につきましまして、舗装がかなり傷んでいるところの改修工事費ということで、計上させていただいております。

次に、002生活道路改良工事の14節工事請負費、道路改良工事につきましましては、この中にいわゆる、市営土木ですね、あと通学路の安全対策、あと側溝の蓋かけ工事等をこちらのほうで計上させていただいております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） その市営土木の関係ですけれども、これはかなりやっばりずっと、今までに希望が上がっていると思うんですよね。これ、優先順位をつけて工事されていくのか、その辺の状況を教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 建設課長。

○建設課長（齋藤実貴男） 市営土木につきましましては、各自治会から要望があっておりますけれども、要望があってから、各自治会に出向きまして、その要望の中身をいろいろ地元と協議しながら、工事の優先順位等を決めさせていただいております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 関連してですけれども、今の部分で、側溝の蓋掛け工事というのを、たしか最初7年ぐらいの計画をつくっていて、ちょっと早めたんではなかね。今、何年たって、どれぐらい進んでいるかということを報告いただければ。

○委員長（陶山良尚委員） 建設課長。

○建設課長（齋藤実貴男） 一応予定では、令和8年度までに完了するというので、事業を進めております。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですね。

ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、3目地域交通対策費について質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 157ページ、公共施設LED化の推進、説明資料のほうは14ページです。防犯灯等街路灯のLED化の方式について、機械器具等借上料、これリース方式という形で

設置をしていくということについて、もうちょっと詳しくご説明いただければと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 建設課長。

○建設課長（齋藤実貴男） この機械器具等借上料につきましては、委員がおっしゃったとおり、市内の防犯灯、街路灯、また、後で出てきますけども、公園等の一斉LED化のリース料をこちらのほう予算を計上しております。一応リース期間につきましては、10年間で契約をしております、一斉にすることによって、省エネとか、その辺を狙って、今回、計上させていただいております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） これ、工事という形じゃなくて、借上げ方式、リースですということで、多分、単年度費用で安く済むので、かなり取替えが進むというふうに考えてよろしいんですか。

○委員長（陶山良尚委員） 建設課長。

○建設課長（齋藤実貴男） 既に、調査が終わって、一応予定では、今ある既存のLED化以外の街灯、防犯灯、公園灯につきましては、4月から9月いっぱいまで、大体、市内の工事を終わらせて、もう一斉にLED化をするというふうな事業になっております。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 157ページの細目004渋滞対策費なんですが、交通計画策定等委託料というのが、昨年度は330万円あったんですが、今回、総合交通計画策定委託料93万円になっているんですが、この辺の流れを教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（古賀千年志） 委員ご指摘の総合交通計画と地域公共交通計画でございますが、今回の004の渋滞対策費と005の地域公共交通費、今回7月に都市計画課のほうに、地域公共交通特命というところで、あらゆる環境の変化、取り巻く環境によって、スピーディーに対応するために、都市計画課のほうで、交通関係を一体的に予算化等を検討するために、今回、この事業番号を分けている関係で、昨年度は交通計画という形でお示ししとったものが、二つ出てきているような形になっております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 今言及された005のほうに関することですが、委託料のところ、地域公共交通計画策定委託料の上のデマンド交通運行業務委託料と下の地域公共交通再構築検討業務委託料、それぞれの委託する内容であるとか、現在の準備状況であるとか、ちょっと説明していただければと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（古賀千年志） こちらの計画につきましては、当初予算説明資料34ページにも記載しておりますが、まず、地域公共交通再編検討のほうにつきましては、こちらのほうにも示しておりますように、なかなか運転手不足ですとか、それ以外のものによっても、あらゆる交通モード、こちらを再構築、検討していく必要があることから計上させていただいているものでございます。

地域公共交通につきましては、そういった再構築を踏まえた中で、地域公共交通、俗に言います地域旅客運送サービスのマスタープランと言われる部分になりますが、市民の移動をしっかりと確保、利便を上げるような形で、計画のほうを策定していくような流れというふうに考えております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） ということは、今のお話ですと、地域公共交通計画の策定と業務委託する再構築というものとはイコールではないというふうに考えてよろしいですね。

○委員長（陶山良尚委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（古賀千年志） お見込みのとおりでございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 同じく157ページ、一番下段のところです。第二種運転免許取得支援事業補助金、これの補助の制度について内容をご説明ください。

○委員長（陶山良尚委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（古賀千年志） こちらにつきましても、予算説明資料の34ページに事業内容のほう記載させておりますが、市民の就職、就業の機会の拡大、また乗合バスタクシー等の運転手を確保するため、2種免許の取得に対して一部の補助をして支援するということ考えているところでございます。

支援組織としては、市内を運行される乗合バスだったり、タクシーの事業者、こちらのほうの維持確保といえますか、そういったところに対して、持続可能な公共交通の実現を目指すために今回計上させていただいたものになります。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） ということは、市内で動いていらっしゃる事業者ということは、そうしたら、かなり大手の西鉄さんも対象になるということでしょうかね。

○委員長（陶山良尚委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（古賀千年志） お見込みのとおりでございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですか。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 今の木村委員の質問とその前の私の質問との関連なんですけれども、再

構築ということを考えていくに当たって、今のような市内での運行業者に対する支援状況、その成果といったようなものも加味しつつ、再構築していくというように考えていると理解してよろしいですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（古賀千年志） まず、2種免許の運転支援につきましては、昨今の報道等にもあるように、運転手不足というのがまず一番ございます。

それに伴いまして、当然、市としても、再構築、路線でございましたり、車両のサイズであったり、いかに持続可能な交通計画を、交通体系を維持できるか、利便を上げていけるかという検討が必要というふうに思っていますので、先ほど申し上げました前段の2種免許が、必ずしも再構築にというふうな形では考えておりません。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

それでは、ここで、14時25分まで休憩いたします。

休憩 午後2時13分

~~~~~ ○ ~~~~~

再開 午後2時25分

○委員長（陶山良尚委員） 再開します。

子育て支援課長。

○子育て支援課長（竹崎雄一郎） 先ほど神武委員さんより、予算書で言いますと131ページになります。産後ケア事業の委託料の令和7年度の予算の算出根拠についてご質問いただきました。

回答として、件数等々をお答えしたんですけれども、利用形態、利用実績、過去からの伸び率、こちらを基礎に1.5倍ほど、今利用実績の1.5倍ほどを算出根拠として予算を計上させていただいておりますので、訂正をさせていただきたいと思います。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（古賀千年志） 先ほど、木村委員のほうから、8款2項3目005地域公共交通費の第二種運転免許取得支援事業についてご質問を受けましたが、その際、少し説明が不足しておりましたので、追加させていただきます。

今回のこの2種免許を取得支援につきましては、あくまで対象は市民に対して行う支援事業としております。先ほど、西鉄さんも対象になるのかというお話あったんですが、市内運行される例えば西鉄バスであったり、太宰府市で言えば、太宰府タクシーさんであったりとか、運行される事業者のほうに、就職されるような方、そういった方の2種免許取得に対しての支援というところで、今、制度を設計中でございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、続きますね。3項河川費、1目河川管理費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、158、159ページ、4項都市計画費、1目都市計画総務費について質疑はありませんか。

笠利委員。

○委員(笠利 毅委員) 161ページのところ入っていますね。

○委員長(陶山良尚委員) そうですね、都市計画総務費ですね。

○委員(笠利 毅委員) 004都市計画事務費の。

(「マイク」と呼ぶ者あり)

○委員(笠利 毅委員) 遠い。

○委員長(陶山良尚委員) 遠いね。

○委員(笠利 毅委員) これでいいかな。161ページ、004の12の委託料で、都市計画マスタープラン等実態把握調査業務委託料というのが50万円ありますけれども、これ、当初予算説明資料でいうところの新規事業としての市街地の活性化に含まれるものだと思います。含まれていません。

午前中に、公共施設整備関係の1,000万円というのが説明があったんですけども、あれは、公共施設再編の文脈の中で説明されたせいもあるかと思いますが、この説明資料の表現によると、これ二通りの読み方があるかと思うんですけども、市としては、経済税収効果を高めるための検討をしていくに当たって、公共施設再編の委託とマスタープランに関するこの委託というのを、二つ手段として用いると、そういう意味合いで、この市街地の活性化という事業が提示されているのかどうか、ちょっとこの文章の読み方を確認させてください。

○委員長(陶山良尚委員) 都市計画課長。

○都市計画課長(古賀千年志) 今、都市計画の観点から申し上げますと、後段のほう2列目になりますか、2行目ですかね、現在、都市計画マスタープランございますが、それと立地適正化計画のほうを、今、策定を進めているところでございます。

それと関連するようなほかのまちづくりの計画とか、そういったものの整合性とか、連携を図りながら、市民の意向、実態調査等を行いながら、新たな都市計画プランの在り方について検討していこうと思っているところでございます。

前段のほうの公共施設の再編というところでございますけれども、こちら、別の部署で予算のほうは計上しておりますが、例えば、五条であったりということになりますと、いきいき情報センターとか、そういったところでの市街地の活性化を検討する中では、そういった施設についての検討も、当然必要になってくるというところで、連携しながら検討を重ねていくような形を考えております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） このページの50万円なんですけれども、必ずしも大きな金額の実態調査ではないので、具体的にどのような内容の調査、予定しているのか、それをちょっと教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（古賀千年志） まず、意向調査でございますけれども、市民の市民意識調査の活用であったり、または不足する都市計画に関わる部分の例えばアンケートですとか、そういった手法も踏まえながら、検討しながら進めていきたいというふうに思っております。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 関連して、都市計画マスタープランが20年なんですけど。それで10年ごとに見直し、実はもうちょっとこれ自体が令和9年の中ぐらいにくる中で、あと1年度ちょっとしかないところで、そろそろ10年ごとの見直しというふうになるんですけども、それがこの都市計画マスタープラン等の実態把握調査、そこら辺にも加味されているのか、確認させていただきます。

○委員長（陶山良尚委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（古賀千年志） 委員ご指摘の都市計画マスタープランにつきましては、10年目をめどに、見直しを必要があれば図っていくというふうな考えでございます。

今、委員おっしゃるとおり、この実態把握調査についても、そういったものにつながっていくような、一つの形になると思っております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 同じところなんですけれども、中心市街地活性化検討業務委託料ということで、これがもう終わっているんですが、これはどういう形で反映されていくのか、教えてください。その上にある大宰府政庁前駐車場管理業務委託料ということで、毎年大体150万円から170万円とかいう形で上がってきていますが、これは委託のやり方としては、もう今のやり方のままなのか、ほかに利活用の何か変更を考えてあるのかとか、その辺を教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（古賀千年志） まず、中心市街地の活性化というところでございますが、先ほど少し立地適正化計画というお話差し上げたんですが、まずはこの立地適正化計画の中で、市内の鉄道駅であったり、そういった中心拠点であったり、広域拠点、交流拠点というふうな位置づけしておりますが、まずは生活の関わる拠点、そういったものを合わせまして、その地域、拠点に合わせた在り方、そういった市街地の活性化に向けて、方針、方向性をこの中で

検討を進めているところでございます。

具体的に、今年度、予算のほうを計上しておりましたけれども、この立地適正化計画の検討と併せまして、内部で関係部署を集まりまして協議を重ねているところでございます。

今回、先ほど、都市計画プランと都市計画マスタープラン等の実態調査、把握調査の業務も今回挙げておりますけど、そういったものをこういった検討につながっていくものというふう  
に考えております。

2点目でございますが、先ほど政庁前駐車場の管理業務かと思いますが、こちらについて計  
上させていただいておりますのが、今、機械式で管理しております。今後の活用ということで  
ございますが、現在、今使っておりますこの機械警備のほうも、今度7年目を迎えるような形  
になります。また、利活用については、議員様からいろんなご意見等もいただいております  
で、新年度に向けて、新たな利活用の方法に向けて、検討を進めているところでございます。

以上です。

(小島真由美委員「分かりました」と呼ぶ)

○委員長(陶山良尚委員) ほかにはありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、2目公園事業費について質疑はありませんか。

長谷川委員。

○委員(長谷川公成委員) 公園整備なんですけど、高雄公園なんですけど、ウォーキングコース  
があって、できたら、市民の方が言ってたんですけど、距離が分かるような、何か塗装するな  
り、何かこうしてほしいというふうなご意見いただいておりますので、検討をお願いしたいと思  
いますが、いかがでしょうか。

○委員長(陶山良尚委員) 建設課長。

○建設課長(齋藤実貴男) 高雄公園につきましては、特に散歩とか、朝は散歩、また夕方につ  
きましても散歩やら部活関係の方がちょっと利用されますので、今後ちょっと検討していきたい  
ということで考えております。

○委員長(陶山良尚委員) ほかにはよろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、3目下水道事業費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、4目土地開発費について質疑はありませんか。次のページ  
までですね。

原田議員。

○委員(原田久美子委員) 001の14工事請負費、セットバックについてなんですけれども、  
1,600万円ほどお金がかかるんですけども、場所とよかったら道路だろうと思えますけれど  
も、何か所なのか、1か所で1,600万円かどうかちょっと教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 建設課長。

○建設課長（齋藤実貴男） セットバックの工事につきましては、やはり状況で、簡易な工事で終わる部分と、例えば、道路ののり敷きとかがあった場合に、やはり結構な工事費が必要な部分があります。

ちなみに、令和6年度、今年度につきましては、一応12件の工事を行っております。ただ、来年度につきましても、既に数件問合せ等がっておりますので、今年度以上ということで、予算を計上させていただいております。

以上です。

（原田久美子委員「ありがとうございました」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、162、163ページ、5項住宅費、1目住宅管理費について質疑はありませんか。

神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 市営住宅維持管理費、001の11役務費の2段目ですけど、残置物撤去手数料が47万5,000円出てますけど、これは1世帯分なのか、何世帯分に当たるのかということと、もう一つ、14の工事請負費ですけども、施設改修工事880万2,000円の内訳をお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課長。

○管財課長（堀 修一郎） 残置物撤去手数料につきましては、1世帯の分になります。

続きまして、施設改修工事については、銚ノ浦市営住宅の排水の縦管の取替え工事、あとは、銚ノ浦、朱雀、般若寺の水道メーターの取替え工事になっております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、9款に入ります。9款消防費、1項消防費、1目常備消防費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2目非常備消防費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページです。3目消防施設費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 4目災害対策費について質疑はありませんか。次のページまでですね。木村委員。

○委員（木村彰人委員） 165ページ、災害対策関係費、説明資料は36ページです。新たな情報発信手段の検討・構築についてとありまして、説明資料の文中では、一体的な情報発信の検討を進めるということですが、ちょっとイメージが湧かないんですけど、一体的な情報発信の検討というのは、具体的にどのような施策をお考えなんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課広聴広報担当課長。

○経営企画課広聴広報担当課長（平嶋香代子） こちら、予算審査資料の36ページにも書いておりますけれども、実際に、防災だけじゃなくて、市政情報だったり、観光情報だったり、全庁的なことでもあるんですけど、実際に、今予算的にはこちらの167ページのほうの予算のほうから335万5,000円上がっておるんですけど、具体的に、その都度、そういった関係課と検討してまいりまして、また、検討、調査研究含めてやっていくところでございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） もうちょっと簡単に言ったら、今、既に公式LINEがありますけど、公式LINEでいろんな市の情報が流れてきますけど、ああいうイメージで、違うような形の情報発信という感じなんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課広聴広報担当課長。

○経営企画課広聴広報担当課長（平嶋香代子） LINEだけではございません。あらゆるSNS使ってのことになってきます。それこそ、今、実際にコミュニティ無線もそうですけれども、あらゆる手段を考えながら検討していくというところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

原田議員。

○委員（原田久美子委員） 災害対策関係費の中に入るかどうか分かりませんが、日本一猛暑のまちの対策の中に、災害対策関係費の30万円で、ミストシャワーとかを設備するというようなことを書いてあったんですけど、どこにどのようなことで30万円を使われるのか。

○委員長（陶山良尚委員） 災害対策関係費の中にある30万円。分かります。30万円ですね。災害対策関係費の中にある。

防災安全課長。

○防災安全課長（糸山邦明） 防災安全課のほうで関係する費用につきましては、クーリングシェルの啓発グッズです。のぼり旗ですとか、そういったグッズの消耗品費として計上させていただいております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 先ほどの木村委員が質問されたところ、説明資料の36ページに関することなんですけれども、様々な情報を一体的に発信するのをこの予算を使ってというような説

明だったかと思えますけれども、私がいつも見ているのは、公式LINEぐらいなんですけれども、ここでその交流人口・関係人口との相互発展を実現するべくという形になっていきますけれども、情報は種類によって最適な伝達手段って、それぞれあるかと思えますけれども、例えばLINEを受信している人で、その交流人口、関係人口に当たる人の割合がどれぐらいであるかとか、市が今発信している情報が、市の外に向けて、どれぐらい伝わっているかというようなことを実態把握というか、調査というか、そのようなことは踏まえて、今回の提案につながっているのかどうか、その辺りをちょっとお聞かせいただければと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課広聴広報担当課長。

○経営企画課広聴広報担当課長（平嶋香代子） 笠利委員のお話ありがとうございます。そういった具体的には、実際に、まだ今から、そういったところも含めて調査研究が必要だと思います。実際に、観光に来られてある方たち、それこそ、そういうときに、もし、地震が起きたときとか、そういうことも含めての情報発信もごさいますし、それが、LINEだけじゃないです。LINEもそれこそ持っておられない方、携帯持っておられない方に対してもどうするかというところもあるかと思えますので、そういったところも含めて、まだ今からがまた具体的にそういったところを調べて、私たちも検討していかないといけないというところでごさいます。以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 災害対策関係費の中に、入ってくるのかちょっと、どこに入るのかよく分からないんですけれども、トイレトラックを購入されましたよね。その維持とかというのは、これのどこに入ってくるのか、それから、活用というのは、災害以外でも使われる予定なのか、せっかく大きな金額で購入されましたので、この項目なのかどうか教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（糸山邦明） トイレトラックの維持の件についてなんですけども、こちらのほうが、今発注をかけさせていただいておりますけども、実際の納入が恐らく9月か10月ぐらいというところで、業者のほうから連絡入っております。そちらのほうから、維持管理等については、適切に考えてまいりたいと思っております。

また、活用についてなんですけども、活用につきましては、基本的に、災害、防災になりますけども、通常に関しましては、例えばイベント等で、そういった車両を展示するとか、そういった形で、周知等を図りたいと思っております。

すみません、また、併せまして、くみ取り料等についても、予算のほうを計上させていただいております。災害対策関係費の中に計上させていただいております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 167ページの防災対策関係備品、説明資料は16ページです。防災備蓄機

能の強化について、備蓄計画上の備蓄品の充足状況、まず状況をご説明ください。

○委員長（陶山良尚委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（糸山邦明） 主立った例えば、防災の食料品等についてなんですけども、太宰府市の場合、県の防災アセスメント調査報告書等を基に、2万食をまずは確保するということになっておりまして、そちらのほうは、もう約3万食は確保している状況です。こちらのほうについては、賞味期限が5年になっておりますので、1年前に、約1万食ずつローテーションをするローリングストックという形でやっております、その充足という形で、令和7年度も購入をさせていただこうと思っております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 分かりました。関連施設の一番下ですね、これ、167ページの地震災害対応訓練費、こちらのほうで、100万円が上がっていますけれども、これは災害対応、災害訓練に参加された方に対して、災害資材を配るといような感じだったと思います。その購入で。そうした場合、備蓄品のローテーションと絡めてこの100万円というのは、例えば100万円分ローテーションで出した、出した分を買うというような形で考えてよろしいのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（糸山邦明） おっしゃるとおりでございます。基本的に食料品のほうについては、賞味期限間近の分は無料で配らせていただいて、併せてこちらのほうを100万円計上させていただいておりますけども、こちらのほうの消耗品で、例えば令和6年度については、避難グッズ、こんなものありますよとか、そういったグッズで計上させていただいて、使わせていただいた次第でございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） それでは、消防費についてはよろしいでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、10款教育費に入ります。1項教育総務費、1目教育委員会費について質疑はありませんか。

神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 169ページ、003学校教育運営費の。

○委員長（陶山良尚委員） 169。

○副委員長（神武 綾委員） 違った、ごめんなさい。

○委員長（陶山良尚委員） まだですよ。

○副委員長（神武 綾委員） 事務局費になっていました。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） そうしたら、次のページです。2目事務局費について質疑はありませ

んか。

神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） すみません、先ほどの続きです。169ページ、003の学校教育運営費、17備品購入費ですけども、各科教材備品外4億円、これは、当初予算説明資料の20ページの一番上にあります教育DX推進事業の児童生徒用のタブレットの更新の金額というふうでよろしいでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鍋島順一） この費用の大半は、今委員がおっしゃったとおり、児童生徒のタブレットの買い替え予算になります。それと、充電保管庫の1台分の購入費をここに計上しております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） このタブレットの更新は、今年度、先生方の分と事務員の方の分を進められたんですけど、当初予算のときに、デジ田交付金で上げられていたのが、年度途中で、その財源確保できなかったということで一般財源化されているんですけども、今回、これ、子どもたちの児童生徒のタブレットの購入ということで、これは財源は、39ページの公立学校情報機器整備補助金じゃないかなと思っているんですけども、その点は、教員タブレットの購入と同じようなことが起きないのかも、これ財源確定されているのかということをお尋ねしたいと思いますけど、いかがでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鍋島順一） 先ほどのタブレットの財源については、委員のお見込みのとおり、公立学校情報機器整備費補助金が充てられております。これらの補助金については、デジ田交付金のように、事業を認められるものではなくて、文部科学省のほうに既に決めておまして、児童生徒の人数分の3分の2の費用を補助するというふうに決まっております。プラスアルファ予備機を15%まで認められるというふうに、明確に基準がございますので、昨年のようなことはないと考えております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） ちょっと今の関連して、確認です。タブレット、パソコンは5年ごとに更新ということですかね。そうすると、児童生徒が約6,500人ぐらいいたら、もう一斉に5年ごとに変えると、そうすると、5年ごとに大きなお金が、補助金があるんでしょうけれども、5年ごとに大きなお金が上がってくるというふうな形になるんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鍋島順一） 今回は、国の補助金が出ておりますことと、今使っておりますのが

Windows 10のタブレットになります。OSのほうが、今年の10月までで切れるということで、今回は一斉に更新というふうに考えております。

委員ご指摘のとおり、5年後にどうなるかというところについては、十分検討が要ると思っております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 参考にちょっと聞きたいんですけども、これ6,500台プラスアルファ、廃棄パソコンが出てくるということは、処理費的なものもこれに入っているのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鍋島順一） 買い替えの前の旧端末についての処分については、予算書の169ページの11節役務費の中にリサイクル関連手数料という形で計上しております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいでしょうか。

ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、170、171ページ、3目人権教育費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、172、173ページ、4目特別支援教育費について質疑はありませんか。

神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 173ページの003、下の一番下のところで、通級指導教室運営費の給料のところ、会計年度任用職員276万円、これが人数が減っていると思うんですけど、この点はいかがでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鍋島順一） こちらについては、通級指導教室の指導員について、今までは市のほうで、加配ではないんですけども、追加で配置しておりました。

今年度、来年度についてなんですけれども、今年度についても、県の職員の方が、1学級に配置をされておりますので、1名から2名配置されておりますので、来年も同じ見込みでしております。なので、来年については、市の加配を行わない形で実施したいと考えております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 戻りたいんですけど。

○委員長（陶山良尚委員） どこですかね。

○委員（木村彰人委員） 171ページです。これどうしても聞かせください。171ページ、メタバースを活用した不登校支援事業、説明資料が23ページ、代表質問でもあったかと思いますが、これちょっともうちょっと深掘りというか、内容が知りたくて、支援の概要ですね、利用の対象者、不登校児童もしくは欠席児童その他、この対象者をどういうふうに考えていらっしゃるのか。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鍋島順一） こちらについては、もちろん不登校児童生徒は対象だと思っておりますし、不登校の兆候のお子さんとか、可能な限りつながりを持たせるために考えておりますので、これからご案内する中で、こちらスクールソーシャルワーカー、サポートティーチャー等が必要と思われるお子さんに声かけをしていくというふうを考えております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） そもそもこの仕組みをちょっと教えてください。ページでは、171ページのソフトウェア等使用料かなとは思いますが、これソフトウェアだけで、もしくは、タブレットだけで対応できるのか、その他に新たな機器があるのか、どのようなシステムになっているのか、ご説明いただければと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鍋島順一） 委員ご認識のとおり、今回計上しておりますのは、システム使用料のみになります。メタバースの空間をお借りすることで、そこにつながりを持たせるための仕組みをつくりたいと思っております。もちろん、この空間を作っただけでは駄目だと思っておりますので、いろんな支援者、サポートスタッフに携わっていただく形で、既存の事業、キャンパス・スマイルであったり、学校のサポートルームにつながったり、つばさ学級につながったりという形で、それぞれの関わりを持たせていく形で考えております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） そうしますと、戻りまして。

（神武 綾委員「関連で」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） 関連、その関連ですね。

神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 木村委員の関連ですけども、メタバースを使ったその仮想教室に入る。仮想教室で学ぶというようなことになると思うんですけど、それは、子どもたちは自宅から行うということですか。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鍋島順一） すみません、先ほど機械のことをちょっとお答えしていませんでしたけれども、基本、タブレットで入っていただくということで、今、神武委員からおっしゃっていただいたように、家から入ることも考えられますし、サポートルームから入ることも考え

られると思います。様々な場面で入っていただくことの可能性を広げたいと思っております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

戻りまして、4目はよろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） そうしましたら、次のページですね、5目幼稚園費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2項小学校費、1目学校管理費について質疑はありませんか。

徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） 177ページ、委託料の12ですけど、水泳指導業務委託料、去年が2,300万円ぐらいが、今度は4,500万円、太宰府市の全ての小学校が民間委託でやっていくということで、初めての学校もあると思うんですよね。それで、行く時期も違ってきて、その辺の暑かったり寒かったりとか、今まで経験した学校の留意点とかもあると思うんです。見学者の対応であったり、最初は、保護者もスタート導入時は不安があったりしたんで、その辺の現場への指示徹底はできているんですか。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鍋島順一） 委員ご指摘のとおり、始める一番最初のときは、保護者の方もご不安があったかと思えます。今、大分進んできまして、いろんな広報を通じて、この事業に対する理解がかなり深まったと思っております。

学校現場の先生方のご負担についてなんですけれども、それぞれの情報共有として、教頭先生、もちろん日程調整についても、一つの市民プールではなく、民間プールで、複数の学校が関わっておりますので、その中で学校で調整をいただいております。

そういった調整の中で、お互いの情報を共有いただいているような形で認識しております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） すみません、関連して、ちょっと間違っていたらすみませんが、学業院中学校のプールも、今度解体という計画でいいんですかね。そうしたら、学中の場合も、民間委託の方向に持っていくんですか。

○委員長（陶山良尚委員） 社会教育課教育施設整備担当課長。

○社会教育課教育施設整備担当課長（福田久博） また、中学校費のところが出てきますけれども、学業院中学校のプールも解体ということで考えております。

委託については、鍋島課長のほうから報告します。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鍋島順一） 委託のことについてなんですけれども、今回、令和7年度予算についてですが、債務負担行為、ページで言いますと7ページのほうになります、下から3行目のところに、水泳指導業務の委託料ということで、学業院中学校分の委託料を上げさせていただいておりますので、令和8年度から委託をすることで準備を進めたいと考えております。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

ほかにはありませんか。

そうしたら、木村委員。

○委員（木村彰人委員） 179ページの校舎等改造工事13億6,663万9,000円の内容について、事業内容について説明いただきたいんですけども、これが予算説明資料が18、19ページだと思いますが、この13億6,600万円の事業内容について概要をご説明ください。

○委員長（陶山良尚委員） 社会教育課教育施設整備担当課長。

○社会教育課教育施設整備担当課長（福田久博） 予算審査資料でご回答しておりますけれども、発注前ですので、公表を差し控えさせていただきたいと思っておりますが、大きな金額になっておりますので、ほとんどのものが、施政方針なり、予算説明資料に載っておりますので、そこから酌み取っていただければと考えております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですね。

神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 177ページ、002小学校管理運営費ですけども、13の使用料及び賃借料の4番目プール使用料で121万7,000円あるんですけど、これは子どもたちにプール利用で、チケットを2枚ずつ配布する事業かと思っておりますけど、これ、恐らく今年もされていたと思いますが、どの程度子どもたちが利用されたとか、結果、集計などが分かれば教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鍋島順一） この事業ですね、夏休みプール開放事業については、来年度から実施する事業になりますので、今年度は実施しておりません。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、178、179ページ、2目教育振興費について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、3項中学校費、1目学校管理費について質疑はありますか。

徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） すみません、07の中学校部活動改革協議会謝礼ということで、9万3,000円ですかね。この会議の人数とか回数分かれば教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鍋島順一） 今回の費用に上げております人数については6名です。今のところ年間2回の実施を予定しております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） 今後の中学校の地域移行について、年2回の会議で、もうある程度方向性を決めるということでもいいんですか。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鍋島順一） まだ2回の中身については、まだこれから検討になりますけれども、県のほうからも、いろんな方針等の事例等もありますので、それをご提案しながらご意見いただきながら進めていきたいというふうに考えております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 中学校施設整備費。

○委員長（陶山良尚委員） いいです、大丈夫です。

○委員（笠利 毅委員） これ、先ほどの小学校の施設整備費と同じで、恐らく資料から読み取ってくださいということになるかと思うんですけれども、逆に言うと、資料を読み取れば予定しているものは全部読み取ることができると考えておいてよろしいですか。それ以外のものはないのかという質問です。

○委員長（陶山良尚委員） 社会教育課教育施設整備担当課長。

○社会教育課教育施設整備担当課長（福田久博） 中学校施設整備費についてですが、資料読み取っていただければ分かるかと思っておりますけれども、その他、あると考えますと、LED照明というものがあまして、太宰府中学校の柔剣道場の照明とか、太宰府東中学校の校舎の照明の更新工事などが入っております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） ページが181ページです。それで、学業院中学校の改築に向けての業務の進捗についてちょっとお伺いしたいんですけども、たしか今年度、令和6年度の調査なりの委託費が入っていました。令和7年度も、その調査的な委託費が入っているんですけども、その進捗についてお伺いします。

○委員長（陶山良尚委員） 社会教育課教育施設整備担当課長。

○社会教育課教育施設整備担当課長（福田久博） 学業院中学校についてですが、校舎及び屋内運動場の改築工事等に関する基本設計、実施設計業務を実施する計画となっております。また、

水城小学校と先ほど言いました学業院中学校のプールを解体を実施する計画となっております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） じゃあ、その業務委託が完成したら、もう次は、次年度以降は、もう工事という形に進まれるというふうに考えてよろしいですか。

○委員長（陶山良尚委員） 社会教育課教育施設整備担当課長。

○社会教育課教育施設整備担当課長（福田久博） その辺りの進捗については、今後、令和7年度に基本設計、実施設計していきますので、その中で決定していくことになろうかと考えております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、182、183ページ、2目教育振興費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、4項社会教育費、1目社会教育総務費について質疑はありませんか。

馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） 003いきいき情報センター管理運営費なんですけども、資料は18ページです。こちらも拡充ということで、フリースペースの拡張を行うとあるんですけども、今ある場所以外にスペースをまた新たに設けるということでしょうか。それと、全世代の交流の活用のイメージを教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 文化学習課長。

○文化学習課長（堀ノ内龍治） いきいき情報センターのフリースペースについては、ちょっと増設を考えております。場所を拡張することを考えております。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） 新たにということですか。

○文化学習課長（堀ノ内龍治） はい、そうです。

○委員長（陶山良尚委員） やり取りされて。

○文化学習課長（堀ノ内龍治） すみません。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） あと活用のイメージは。

○委員長（陶山良尚委員） 文化学習課長。

○文化学習課長（堀ノ内龍治） 活用のイメージについては、今あるスペースの増設と、特に変更等ではなくて、今ある、使っているフリースペースの拡張ということイメージしてもらってよ

ろしいかと思えます。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） 全世代が。

○委員長（陶山良尚委員） マイク入ってないですね。

○委員（馬場礼子委員） 全世代が交流できる場所としてのフリースペースの活用、有効活用ですけども、どういうその全世代交流の活用のイメージをされているのかなと思いました。今、eスポーツとか、それ以外で何か。

○委員長（陶山良尚委員） これは。

○委員（馬場礼子委員） これ後で大丈夫です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次にいきます。186、187ページ、2目青少年教育費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、188ページ、189ページ、3目青少年対策費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、4目図書館費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは5目公民館費について質疑はありませんか。次のページまでですね、よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、6目文化財整備費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページ、7目文化財活用費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページですね、8目文化財調査費について質疑はありませんか。

戻ります。

馬場委員、どちらですかね。

○委員（馬場礼子委員） 7目の002工事請負費、施設改修工事。

○委員長（陶山良尚委員） 002文化財施設管理運営費。

○委員（馬場礼子委員） 002文化財費施設管理運営費。

○委員長（陶山良尚委員） の工事。

○委員（馬場礼子委員） その中の14の施設改修工事なんですけども、2,200万円ぐらい、令和6年度からちょっとプラスになっている分はどういった内容なんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 文化財課長。

○文化財課長（井上信正） お答えします。

193ページの工事請負費施設改修費の件につきましては、文化ふれあい館の老朽化などに伴う施設の改修となります。

特に大きい金額というのが、エレベーターのリニューアルの工事になりまして、これが2,200万円ほどございまして、そういったところが増加しております。

以上です。はい。

（木村彰人委員「そこまででちょっと」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） 戻りますか。

（木村彰人委員「早かったので。193ページの6目なんですけど」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） 193ページの6目。木村委員。

○委員（木村彰人委員） 大宰府関連史跡整備事業費のところ、これ5,000万円上がっている工事設計監理等委託料、これの内容をちょっとお伺いしたいんですが。

○委員長（陶山良尚委員） 文化財課長。

○文化財課長（井上信正） 内容につきましては、大宰府跡整備基本計画の業務設計委託料が一番多くなっておりますが、これが一般質問のときもございましたように、4,700万円ほどございます。そのほか四王寺山周辺の史跡地の中の環境整備事業などの予算、あとサイン整備の予算などになっております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） これが終わったところで、それに基づいて、そうしたら整備工事という形が始まるんでしょうね、整備工事といいますかですね。

○委員長（陶山良尚委員） 文化財課長。

○文化財課長（井上信正） 今回、基本設計というのをつくりまして、それに基づいて、今度は整備工事の実際の実施設計、あと工事というのが始まってまいります。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 最後です。

説明資料の26ページに、この関係で、官民連携による先進的多用途活用に資する環境整備という形でうたってありますけど、ちょっと具体的にちょっとイメージがなかなか難しいので、これ具体的にどういう形を言い表してるのかご説明いただければと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 文化財課長。

○文化財課長（井上信正） すみません、もう一度すみません、資料のページを教えてくださいませんか。

○委員（木村彰人委員） 予算説明資料の26ページです。26ページの、この事業内容として官民連携による先進的多用途活用に資する環境整備のためという形で書いてありますけど、具体的にどのような設計をされるのか、ちょっとイメージが湧かないもんですから、大変文言の確認で申し訳ないんですけども。

○委員長（陶山良尚委員） 文化財課長。

○文化財課長（井上信正） 内容につきましては、大宰府跡整備基本設計の内容になってきます。特に、官民連携というところについての先進的多用途活用というところにつきましては、特に今活動されている各種団体の方がいらっしゃる中で、その方々と一緒に、今後も活動していく中で、史跡の価値を高めていくということで、史跡整備の検討委員の中にも、そういった団体の方、入っていただいております。

中身につきましては、今後、また、実際の基本設計の中で検討していくことになるかと思えますけれども、そういったイベントとか、また、自然とか、また、史跡の散策とか、そういった内容のことが、文化財的にはございますし、そのほか、フードトラックなどのそういった、今行っている内容も活用の中に含まれるかと思えます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） それでは、8目に戻ります。8目について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、5項。

（小島真由美委員「すみません」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 193ページに戻らせてください。

○委員長（陶山良尚委員） 7目ですかね。

○委員（小島真由美委員） ごめんなさい、7目ですね。これ6目とも一緒になっているのかな、説明資料の26ページの特別史跡大宰府跡整備基本設計の事業の中、ごめんなさい、間違えた、下から2番目の指定文化財保存整備の推進で、太宰府天満宮の改修工事と防災工事、それから、水城跡の環境整備事業、これ一緒になっているので、ちょっとよく中身が分からないので、すみませんが、もう一回ちょっとこれ、6目にもかかってくると思うんですけど、説明をお願いしたいと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 文化財課長。

○文化財課長（井上信正） 今、小島委員がおっしゃったように、この文化財保存継承事業費の中の太宰府天満宮への保存修理、また防災施設整備の費用が一つ入っておりますのと同時に、大宰府関連史跡整備事業費ですね。003の大宰府関連史跡整備事業費の内容の中で、四王寺山周辺の樹木伐採などを行う環境整備事業や、史跡のサインの設置、そのほか、関連する整備の事

業が入ってまいります。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 例えば、この水城跡の環境整備にどれくらいとかという内訳とかというのは、今のところまだ分からない感じですか。

○委員長（陶山良尚委員） 文化財課長。

○文化財課長（井上信正） 水城跡に関しましては、少し今文化庁との補助金についての、今ちょうど協議を行っている状況がございまして、今後また明らかになっていくかと思えます。

以上です。

（木村彰人委員「すみません」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） 戻ります。

（木村彰人委員「同じ7目」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） はい、どうぞ。木村委員。

○委員（木村彰人委員） すみません、ページ数が193ページです。そこで、委託料ほかとして、これ説明資料が26ページ、令和国際文化会議についてという形で、令和国際文化会議、これ自体が令和4年度の市制施行40周年式典から始まったイベントということでして、令和文化会議になったり、令和国際文化会議、タイトルが変わっているんですけど、まずどちらが正しいのかということと、これずっと継続して行っていくかという会議体でしょうから、何かしらこの内容について、決まりがあるのか。これについてお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 文化財課長。

○文化財課長（井上信正） 令和国際文化会議につきましては、予算上で、これまで上げさせていただいてる中では、令和国際文化会議という文言が出てきたと思えます。

これは、そのまま継続させていただいておりまして、昨年度は大河の光る君へということで、令和文化会議ということでやっておりましたけれども、できれば、国際文化会議というところで項目が挙がっております。

内容につきましては、まだ内容確定しているわけではございませんけれども、これまでのイベントを行ってきた、昨年はちょっと別ですけども、それまで行ってきた令和国際文化会議として行ってきた内容について、それに見合うような規模の予算を計上させていただいているということです。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 最後です。195ページ、その日本遺産活性化協議会補助金205万5,000円ということですけど、日本遺産は降格となりましたけど、協議会は実際ありますので、これそのまま、支出する形での必要な予算として考えていてよろしいのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 文化財課長。

○文化財課長（井上信正） こちらにつきましては、太宰府市の日本遺産活性化協議会ということになります。これは、平成27年度に設立して、27年度中からパンフレットとか、ホームページ、アプリなど、その後作成してまいりました。こちらのホームページアプリの運営費ということでこの金額を上げさせていただいております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） それじゃ、戻ります。

5項保健体育費、1目保健体育総務費について質疑はありませんか。

（笠利 毅委員「8目いいですか」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） 8目。

（笠利 毅委員「194ページ」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） 194ページですね。8目ですね。認めます。許可します。

○委員（笠利 毅委員） この文化財調査費のところ、昨年、万葉館に関する特別旅費というのがあって、それで、何か所が訪ねて、それが太宰府にとって用いる意味というのを確認することから始めたいということだったんですけども、それについて、今年はちょっとその費目がないので、一定の成果なりがあったのであれば、どういうものが得られたかということと、引き続き、昨年のその万葉館のこと、今年も取り上げているのであれば、どこに予算が配分されたりしているのか、そこをちょっと教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 文化財課長。

○文化財課長（井上信正） （仮称）令和万葉館につきましては、今年度、類似する館と申しますか、文学に関する館の調査ということを行っております。現地視察のほうでは、大体、近隣で10館、アンケート調査も16館ほど行っております。これの内容につきましては、昨年度は文化財調査の費用のほうに置いておりましたけれども、次年度は、実際、そういった視察といえますか、先進市視察というか、そういったところも含めて考えたいということで、これは、ちょっと飛びますけれども、193ページの文化財活用費の001史跡整備協議会等関係費の中に旅費を、あと、関連しまして、文化財保存・継承費の中にお詳しい方というか、専門の方をお呼びして、ご指導いただくための指導謝礼を計上させていただいております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 確認ですけども、ということは、去年はどこそこへ行った特別旅費がついてたとは思いますが、どこそこへ行ったということではなくて、郵送なり何なりの手段での調査ということをしていたというふうに理解してよろしいですかね。昨年というか今年度です。

○委員長（陶山良尚委員） 文化財課長。

○文化財課長（井上信正） 旅費を使ったり、使っていなかったりということがあるんですが、実は、現地各館に、実際赴いて、視察などはさせていただいておりまして、公用車などで使って

る分には、旅費は使用してないということになります。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） それでは、1目保健体育総務費について質疑はありませんか。

長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） スポーツ推進費で、スポーツ推進委員なんですけど、たしか昨年也希望していたと思うんですが、コロナ禍以降、派遣事業が非常に増えていると思います。地域の行事やイベントが、かなり増えてきていた中で、いまだにその定例会が行われなくて、費用弁償不足ということですが、市民会議は行われているということですか。

これしっかりと予算取っていかないと、いろんなところで、例えば、介護予防に関してもそうですけど、やっぱりきちんと定例会議をみんな集まって行って、そこで今度、地元、地域に派遣していかないと、やっぱ末端の部分で、何て言うんだらう、例えば、スポーツ事業、特に増えていかないと、やっぱ地域で待っている人もいます。

予算がないから、本当は5人要求したけど、3人しか来れないとか、そういう事態が起こらないように、やっぱきちっと予算を取らないと駄目だと思うんですけど、1回も補正予算上がってこないから、どうなっているんだらうなということで、ちょっと懸念しているんですけども、もしご回答があればお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） スポーツ課長。

○スポーツ課長（橋川史典） スポーツ推進委員に関しましては、長谷川委員ご指摘のとおり、予算がちょっと不足して、毎月の定例会を紙面で開催しているといった部分もございますが、審議がない会議について、紙面開催をさせていただいているという状況でございます。

令和7年度に関しましては、予算のほうも増額をさせていただきまして、充実させるような形で実施できればと思っております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2目施設管理運営費について質疑はありませんか。

門田委員。

○委員（門田直樹委員） 001スポーツ施設管理運営費の12節委託料、北谷運動公園があるんですが、次の次の14節の工事請負費に営繕とか施設改修工事は入っていますが、要は北谷運動公園で、テニスコートの面が、非常に傷んでるということで、非常に利用者から声が上がっております。

まず、その件に関して把握しておられるのか、また、そういう改修、軽微なものに関しては指定管理者の枠の中で大体やるだけけれども、全面工事となると、市がやると思うので、そういったことをされるのか、どこに入っているのか、ちょっとお聞かせください。

○委員長（陶山良尚委員） スポーツ課長。

○スポーツ課長（橋川史典） 北谷のテニスコートの芝については、現状把握をしているところがございます。すみません、令和6年度までなかなか予算がなくて、手をつけておられないところなんです。基本的には、10番の事業費の修繕料等の中で、対応していければというふうに思っているところがございます。

北谷の工事につきましては、令和7年度は、LED照明の付け替えという形になっておるところでございます。

以上でございます。

（門田直樹委員「分かりました」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） ほかに。

今泉委員。

○委員（今泉義文委員） 201ページの先ほどのスポーツ施設管理運営費の14節の中の施設改修費、これが昨年が5,600万円ほどだったのが7,500万円ぐらいになっているということで、新しく改修される場所等ありましたら教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） スポーツ課長。

○スポーツ課長（橋川史典） 施設改修工事につきましては、先ほど言いました北谷テニス照明を含めまして、合計13件の整備を行うところがございます。

代表なものとしては、史跡水辺公園のろ過器の修理であるとか、大佐野ソフトボール場のフェンスを高く、今ちょっと低いところですので、高くする工事とか、そういったものを考えておるところでございます。

以上でございます。

（今泉義文委員「ありがとうございます」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 199ページ、史跡水辺公園・総合体育館指定管理料のところ、説明資料は30ページ、これ公共施設等市外者料金設定についてということで、まず、この史跡水辺公園の市民プールの市外者料金設定しましたので、この収益の効果についてご説明いただければと思います。

○委員長（陶山良尚委員） スポーツ課長。

○スポーツ課長（橋川史典） 市外者料金を令和6年7月から実施を行いました。市内、市外の内訳として、おおよそ7割が市民の方、3割が市外の方というふうに聞いております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 利用状況は分かりました。収益ですよね、これでどれだけプールの市外者の料金を定めないと、定めた後、どれくらい増えたかというのをちょっと確認したかったんですが。

○委員長（陶山良尚委員） スポーツ課長。

○スポーツ課長（橋川史典） 市外者料金を設定したことによって、合計、今まだ、途中でございますので、はっきりした金額は言えないんですけども、3,600万円を当初予定していたんですけども、現段階で3,400万円ぐらいの収入が上がっているといったところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 関連して、これ、予算説明資料によりますと、スポーツ課だけじゃなくて、担当課として、いろんな課が載っております、公共施設についても、既に市外者料金で設定してあるんですけども、こういう形で、プールのように改めて市外者料金を設定するとか、逆に、今市外者料金設定しているところを、逆に差を広げるとかいうことまで検討されるという方向なんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） 今、スポーツ施設におきましては、基本的に市外者料金導入しておりますが、文化施設について、まだ一部の導入になっております。まずは、ここを、令和7年度検討したいなと思っております。導入効果がどれぐらいあるか、また、利用者の方が、それで減ってしまうということではよくありませんので、その辺りを見極めたいなと思っております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはございませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） すみません、予算説明の39ページで、このどこに入ってるのかな。

199ページのLED化のも入っているんですけど、このどこのこと、199ページの、もう終わったところですかね、これ。スポーツ施設管理費だけ上がってますね、のうち、これ、どこのLED化のことを言っているんですかね

○委員長（陶山良尚委員） スポーツ課長。

○スポーツ課長（橋川史典） スポーツ課の部分に関しましては、先ほど申しました北谷テニスコートのLED化照明になります。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 北谷だけ。後はもう全部終わっているということでの認識でいいんですか。この001に関しては。

○委員長（陶山良尚委員） スポーツ課長。

○スポーツ課長（橋川史典） 施設に関してはということでしょうか。

スポーツ課に関しては、もう北谷のLEDのみになります。

全体的に施設がなっていないところがあるかというところでございますが、なっていないところがございます。なので、こちらのほうも、随時実施していくといった形になろうかと思いま

す。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次にいきます。11款災害復旧費に入ります。1項文教施設災害復旧費、1目文化財施設災害復旧費について質疑はありませんか。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2項農林水産業施設災害復旧費、1目、2目まとめて質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 3項公共土木施設災害復旧費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 次のページですね、4項その他公共施設・公用施設災害復旧費、1目、2目合わせて質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、12款公債費に入ります。1項公債費、これも1目元金、2目利子について質疑はありませんか。

1項予備費、1目予備費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 以上で歳出の審査を終わります。

次に16ページ、歳入に入ります。

1款市税、1項市民税について質疑はありませんか。

神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 1款1項市民税、1目個人の分が、昨年度と比べて3億円ほど増えていると思うんですけど、この要因を教えてください。3億6,000万円増額になっている理由をお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 税務課長。

○税務課長（田代 浩） 個人市民税が伸びている原因ですけれども、令和6年度が定額減税がございましたので、その分の影響が3億1,000万円ほどございます。あとは、経済状況が回復しておりますので、賃金の上昇による増収を見込んでいるところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

ほかにはございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2項固定資産税、まとめていきますね、3項軽自動車税、

4 項市たばこ税について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、次のページ、5 項都市計画税、6 項入湯税、7 項歴史と文化の環境税について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、2 款地方譲与税に入ります。1 項 1 目地方揮発油譲与税について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) 次のページ、2 項 2 目自動車重量譲与税、3 項 1 目森林環境譲与税について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、3 款利子割交付金、1 項 1 目利子割交付金について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、4 款配当割交付金、1 項 1 目配当割交付金について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) 5 款株式等譲渡所得割交付金、1 項 1 目株式等譲渡所得割交付金について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、6 款法人事業税交付金ですね、1 項 1 目法人事業税交付金について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、7 款地方消費税交付金、1 項 1 目地方消費税交付金について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、8 款ゴルフ場利用税交付金ですね。1 項 1 目ゴルフ場利用税交付金について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、9 款 1 項 1 目環境性能割交付金について質疑はございませんか。はい。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、10 款 1 項 1 目地方特例交付金について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

- 委員長（陶山良尚委員） それでは、2項ですね。2項1目新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金について質疑はございませんか。
- （「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、11款1項1目地方交付税について質疑はございませんか。
- （「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） そしたら、12款ですね、1項1目交通安全対策特別交付金について質疑はございませんか。
- （「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、13款分担金及び負担金、1項負担金、まとめて1目、2目、3目について質疑はございませんか。
- （「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、13款2項ですね、分担金について質疑はございませんか。
- （「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、14款ですね。使用料及び手数料ですね。1項、そして次のページですね、まとめて6目まで質疑はございませんか。
- 神武副委員長。
- 副委員長（神武 綾委員） 29ページになりますけども、5目商工使用料、観光使用料の中の太宰府館使用料が、これが150万円増えている要因だと思うんですけど、理由をお願いしたいんですが。
- 委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。
- 観光推進課長（西川英毅） ご指摘の太宰府館使用料の150万円の増でございますが、コロナ禍も開けて、太宰府館の使用の利用者が増えてきたということの傾向を踏まえて、増額の予算計上とさせていただいております。
- 以上でございます。
- 委員長（陶山良尚委員） ほかにはございませんか。
- （「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページですね、先ほどの7目、8目について質疑はございませんか。
- （「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） 次は、32、33ページ、14款使用料及び手数料ですね、2項手数料、1目、2目合わせて、次のページの3目、4目合わせて質疑はございませんか。
- （「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、15款国庫支出金、1項国庫負担金、これも1目、2目、3目合わせて質疑はございませんか。
- （「なし」と呼ぶ者あり）

- 委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページですね、2項国庫補助金、これも1目、2目、3目、合わせて質疑はございませんか。
- （「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページですね。国庫補助金、4目、5目、6目、7目合わせて質疑はございませんか。
- （「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、3項委託金ですね、これも、次のページですね、1目、2目合わせて質疑はございませんか。
- （「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、16款県支出金、1項県負担金、これも1目、2目、3目合わせて質疑はございませんか。
- （「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページ、2項県補助金、1目、2目合わせて質疑はございませんか。
- （「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページですね。県補助金、3目、4目、5目、6目、7目合わせて質疑はございませんか。
- （「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページですね、3項委託金、これも次のページまでですね、1目から7目まで合わせて質疑はございませんか。
- （「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、17款財産収入ですね、1項財産運用収入、これも1目、2目合わせて質疑はございませんか。
- （「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、2項財産売払収入ですね、1目について質疑はございませんか。
- （「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページ、18款寄附金、1項寄附金ですね。1目、2目、3目、合わせて質疑はございませんか。
- （「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、19款繰入金、1項基金繰入金、1目、基金繰入金について質疑はございませんか。
- （「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、2項1目特別会計繰入金について質疑はございませんか。
- （「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、20款繰越金、1項1目繰越金について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページ、21款諸収入です。1項延滞金・加算金及び過料について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2項市預金利子について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、3項貸付金元利収入です。4項雑入について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 次のページ、5項受託事業収入について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、22款市債です。これも1項市債、1目、2目、3目、4目、5目です。取りあえずそこまで質疑はございませんか

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 次のページです。市債、6目、7目について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 以上で、歳入審査を終わります。

次に、7ページ、8ページの第2表です。債務負担行為について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 次に、9ページの第3表、地方債について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 次に、206ページから208ページまでの給与費明細書について質疑はありますか。

神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 207ページになります。予算決算で何回か取り上げています職員の方の時間外勤務手当ですけども、207ページの上から二つ目の表の一番右側です。

時間外勤務手当、本年度が8,585万4,000円になっていまして、前年度が1億7,000万円でしたので、8,500万円ほど減額、半分になっているんですけども、これ、半分にできる条件、どのように設定されているのかをお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（鳥飼 太） 予算審査資料でも、請求をいただいております。そちらにも記載をさせていただいておりますけれども、まず、職場の職員が、安心して働けるというような環境を目指しております。

それから、コロナ禍で増えてきました時間外勤務というのを、改めて見直そうということで、取組を行う予定にしております。

そういったことを総合的に勘案しまして、この金額ということでさせていただいておるところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 実際に、令和元年度の予算のときには約8,500万円ぐらいで、時間外手当なっていましたので、コロナ前に戻るというのは確認しましたがけれども、ちょっと額が半分ですごく大きいので、さっき言われました詳しい取組というのが、幾つかも考えられていると思うんですけど、それをお聞かせ願えればと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（鳥飼 太） 一つの取組といたしましては、時間外勤務を行う上で、まず所属長に申し出て承認を得ることがございます。その辺りを、まず徹底するという。それから、水曜日の定時退庁等、その辺りを徹底していくということで、考えておるところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） あまりにも額が、厳しくなるので、逆にこの数字を目標にしようとして、タイムカード押した後に残ったりとか、何かそういうことのないようにお願いしたいと思います。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次に、210ページから222ページまでの各調書について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、歳入歳出全般について質疑漏れはございませんか。

文化学習課長。

○文化学習課長（堀ノ内龍治） 先ほど、馬場委員の質問に答えることができておりませんでしたので、ちょっと今から答えたいというふうに思います。

予算書の183ページになります。歳出になります。いきいき情報センター管理運営費のところ、リーススペースの活用についてということでございますけれども、拡張に当たりましては、実習スペースの要望が多いということで拡張するものであります。

また、活用につきましては、関係課と調整を図りながら、例えばキャンパスネットワーク会議等と通じてなど、大学等とも連携を図りながら進めていくところで考えております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 国際・交流課長。

○国際・交流課長（松井百合子） すみません、今の補足といたしまして、リーススペースの活用

を令和7年度は、大学等と連携して市民を対象とした体験会等をまた実施をしていくために、10万円を計上させていただいております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） それでは、もう一回、それでは、歳入歳出全般について質疑漏れはありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 歳出歳入全般的な話でちょっとお伺いしたいんですけども、まず、歳入のほうで、市債が前年度比、これ200%超えて11億円という増、歳出のほうで、近年ずっと基金の積立てがすごく大きかったんですけども、逆にそれが、80%減になっています。繰出金もありというところで、なおかつふるさと納税も、どうも頭打ちという形になってきて、歳出と歳入のちょっと潮目が変わってきたように思うんですけども、これ、今年度に限らず、教育施設の起債というのはまだ続くと思われまして。なおかつ、積立金、ふるさと納税あたりの頼りも、なかなか難しいというところで、こういう形が続きそうな気が私するんですけども、財政としてはどういうふうにお考えでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） ご質問、まず市債関係になりますけれども、そうですね、予算書の222ページをご覧くださいと思います。

左から3列目です、前年度末現在高見込額、これ一番下になりますけれども、これが令和6年度末の残高、借金の残高ということになります。一番右側が当該年度末現在高見込額ということで、令和7年度末の見込み額というふうになっております。

見ていただきましたら分かりますように、令和7年度末のほうで、7年って確かに、委員御指摘のように、市債、起債増えておりますが、償還額も増えていっておりますので、トータルとしましては、市債残高は減るような形で令和7年度は見込んでおるところでございます。

それから、基金につきましては、ご指摘のように、今回繰入れ増えております。背景としましては、まず、基金残高自体、これまで基本的には増やしてきているところでございまして、当然、将来への備えとしての役割がある一方で、今の、現在の市民ニーズに答えていくというところでも、しっかり基金を活用していくというところで、本年度はこういった繰入れをさせていただいたところでございます。

それから、ふるさと納税のご指摘もありましたが、頭打ちというところで、もちろんそういったところで競争が激化しておりますが、ここもしっかり取り組んで、基金に限らず、しっかり歳入確保に、できるようにということで、考えているところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 以上で質疑を終わります。

ここで委員間の自由討議を行います。

発言される際は、論点、争点を明確にして発言をお願いします。

発言される方はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) これで自由討議を終わります。

これから討論、採決を行います。

議案第16号「令和7年度太宰府市一般会計予算について」討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) これで討論を終わります。

採決を行います。

議案第16号を原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願います。

(多数挙手)

○委員長(陶山良尚委員) 多数挙手であります。

よって、議案第16号については原案可決すべきものと決定しました。

〈原案可決 賛成11名、反対4名 午後3時52分〉

○委員長(陶山良尚委員) 以上、本会議において報告します。

以上で、予算特別委員会に付託されました案件の審査は全て終了しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長(陶山良尚委員) ここでお諮りします。

本委員会における審査内容と結果の報告につきましては、委員長にご一任願いたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) ご異議なしと認め、委員会の審査内容と結果の報告につきましては、委員長に一任することに決定しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長(陶山良尚委員) これをもちまして予算特別委員会を閉会します。お疲れさまでございました。

閉会 午後3時52分

~~~~~ ○ ~~~~~

上記会議次第は事務局長の記載したものであるが、その内容が正確であることを証するためここに署名します。

令和7年5月16日

太宰府市予算特別委員会委員長 陶山良尚